

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Cyber-shot

Digital Still Camera

DSC-F3

必ずお読みください

液晶画面について

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と黒、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。(有効画素99.99%以上)これらの点は、記録されません。

充電式リチウムイオン電池の上手な使いかた

充電式リチウムイオン電池は、室温(10 ~ 30)で充電してください。温度が低い(10 以下)ところで充電すると、充分な充電(フル充電)ができないため、使用時間が短くなります。

寒冷地では、電池の使用時間が短くなります。これは、温度が低い(10 以下)と、電池の性能が低下するためです。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません。

万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PC-98シリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターや充電器のプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラ本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② バッテリーをはずすか、ACパワー アダプターをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス 窓口に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

ここだけ読ん
でも使えます

いろいろな
撮影のしかた

⚠警告・⚠注意 6

撮って見る

11

- | | |
|---|----|
| 1 電池を入れる | 11 |
| 2 撮影する | 13 |
| 撮影中の表示 / オート撮影とマニュアル撮影 / コンセント
につないで使う / フラッシュ撮影をする / 被写体に接近し
て撮影する / 撮影した画像を確かめる(レビュー) / レンズ
を回転させて撮る(対面撮影) / うまく撮る姿勢 | |
| 3 再生する | 17 |

プリンパする

18

- | | |
|--------------------|----|
| 1 プリンパ枠を選ぶ | 18 |
| 2 撮影する | 20 |
| 3 シールをプリントする | 20 |

赤外線通信を行う

23

メニューに
ついて

- | | |
|---------------|----|
| メニュー一覧 | 24 |
| メニューを選ぶ | 26 |

- | | |
|---------------------------------|----|
| 連続して撮る(連写) | 27 |
| シャッターを押す前後を連続して撮る(タイムマシン) | 28 |
| 動画撮影をする(アニメ撮影) | 28 |
| 1画面で2回シャッターを切る(ダブルショット) | 29 |
| 合成用に複数の画像を撮る(レビュー撮影) | 30 |
| セルフタイマー撮影をする | 30 |
| セピアで撮る | 31 |
| モノクロで撮る | 32 |
| 画質モードを選ぶ | 33 |
| 明るさを補正する | 34 |
| シャッタースピードを選ぶ | 35 |
| フラッシュの明るさを調節する(フラッシュ設定) | 36 |
| 日時を記録する(時計合わせ) | 37 |

いろいろな 再生のしかた

一度に複数の画像を再生する(インデックス再生).....	38
選んだ画像を順番に自動再生する(スライドショー).....	39
画像を回転させて再生する(回転).....	40
画像を拡大して再生する(拡大).....	41

画像を残す。 消す

大事な画像を残す(プロジェクト指定).....	42
画像を消す(削除).....	43

撮影した画像 を他の機器で 使う

接続できる機器	44
テレビで見る	45
プリントする	45
パソコンで使う	49
赤外線データ通信システム対応機器を使う (画像送受信)	52

電源について

本機の電源について	54
充電式リチウムイオン電池の上手な使いかた	55

その他

使用上のご注意	56
保証書とアフターサービス	58
故障かな?と思ったら	59
警告表示とお知らせメッセージ	61
主な仕様	63
各部のなまえ	65
用語解説	67
索引	67
裏表紙	67

警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により**死亡や大けが**の原因となります。

運転中に使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら撮影／再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように十分にご注意ください。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。
事故やけがなどの原因となります。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。特にストロボや液晶画面付きの機種では高電圧回路が内蔵されており危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



飛行機の機内では使わない

本機の発する電磁波が運行の安全に支障をきたす恐れがあります。



病院などで使用を禁止された区域では、本機の電源を切る
本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。
医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず使用許可を得て
ください。



雷が鳴りだしたら、使用しない

遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐ
にご使用を中止してください。

屋外で使用時は、安全な場所へ避難してください。



強制



持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやハンドストラップに手を通したまま
本体を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えた
り、ドアにはさまったりして故障やけがの原因となりま
す。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れ
るなど固定してください。



禁止



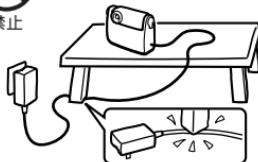
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - ・ 熱器具に近づけない。加熱しない。
 - ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニ
ーサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止



可燃性 / 爆発性ガスのある場所でストロボ を使用しない

可燃性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそ
れがある場所では使用しないでください。引火、爆発の
原因になります。



火気禁止



自動車内の運転者に向けてストロボを使用しない

運転者に向けてストロボを使用すると目がくらみ、運転
不可能になり、事故を起こす原因になりますので、使用
しないでください。



禁止



！注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所

では使わない

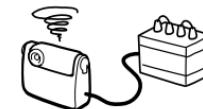
上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



指定以外の充電器やACパワーアダプター、

カーバッテリーコードなどを使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



ぬれた手でACパワーアダプターや充電器を

さわらない

感電の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードやバッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

バッテリーやショルダーベルトやハンド

ストラップは正しく取り付ける

正しく取り付けないと落下によりけがの原因となることがあります。また、ショルダーベルトやハンドストラップに傷などがないか使用前に確認してください。万一、傷などがある場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて交換をご依頼ください。



幼児の手の届かない場所に置く

駆動部に手をはまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。万一破損した場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



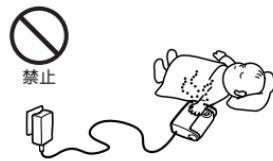
コード類は正しく配置する

電源コード、AVケーブルやRS-232Cケーブルは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。



通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



本体やACパワーアダプター、充電器を

布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



太陽を撮影しない

太陽や強い光に向けて撮影しないでください。目に障害を起こす原因となります。



ストロボを至近距離で人に向けない

ストロボを人の目の前(特に乳幼児)に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには1m以上離れてください。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド

(Ni-Cd)

ニッケル水素

(Ni-MH)

リチウムイオン

(Li-ion)

鉛

(Pb)

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型リチウム電池

リチウム

△危険

- (この項目はバッテリーパックのみに適用となります)
- 指定された充電器以外で充電しない。
 - 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。指定された充電器で充電しても充電されない場合、電池の故障または寿命切れですので、新しい電池を購入してください。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
 - バッテリーパックは、火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
 - バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

△警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池や乾電池パックは充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

△注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出してください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い

使用済みニカド電池、リチウム電池、ボタン型リチウム電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

撮って見る

必要なもの



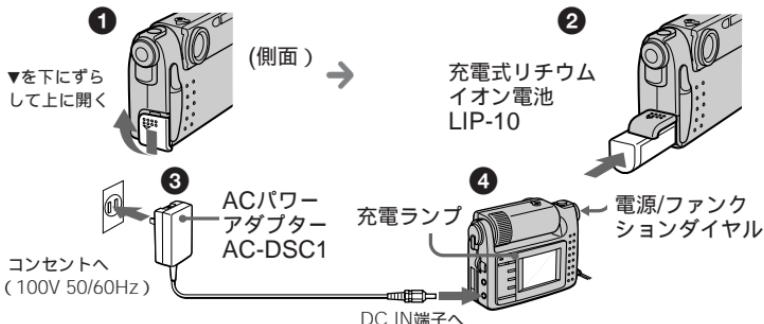
液晶画面を持たないでください！



ここだけ
読みでも
使えます

1 電池を入れる

充電式リチウムイオン電池LIP-10（付属）とACパワーアダプターAC-DSC1（付属）を使います。



① 電池ぶたを開ける。

② 充電式リチウムイオン電池を入れて電池ぶたを閉める。

③ ACパワーアダプターを接続する。

本体の電源/ファンクションダイヤルを「切」にし、ACパワーアダプターAC-DSC1（付属）のプラグを起こし、コンセントにつないでください。

④ 充電式リチウムイオン電池を充電する。

充電中は、充電ランプが点灯します。空の電池を充電した場合、充電完了するまでに最長約4.5時間かかります。（電池の使用状態によって、充電時間は変化します。）急いでお使いになりたいときは、約1時間充電すれば本機は使用可能になります。ただし充電時間によってお使いになれる時間は異なります。

撮って見る(つづき)

■画像データの破壊を防ぐために
撮影や再生の操作中に充電式リ
チウムイオン電池やACパワーア
ダプターを抜くと、画像データ
が破壊されることがあります。
必ず電源/ファンクションダイヤ
ルを「切」にしてから充電式リ
チウムイオン電池やACパワーア
ダプターを抜いてください。

※ オート液晶オフ / オートパワーオフ機能
(省電力機能)
撮影時、本機の電源を入れたままで約30
秒操作をしないと自動的に液晶画面が消
えて(オート液晶オフ機能)、さらに約
30秒で自動的に電源が切れます(オート
パワーオフ機能)。再生時は、液晶画面
は消えず約4分間操作をしないと自動的
に電源が切れます。

液晶画面が消えている時でも電源は入っ
ていますので、シャッターボタンを軽く
押すと液晶画面はすぐに点灯します。
電源が切れた時は電源 / ファンクションダ
イヤルを一度「切」に戻し、「カメラ」、
「再生」または「PC」にするか、シャッ
ターボタンを軽く押すと復帰します。
ACパワーアダプターをつないでいるとき
は、オート液晶オフ/オートパワーオフ機
能は働きません。

※充電式電池の充電時期
撮影中、画面表示ボタンを押すと、液晶
画面に電池残量が表示されます。



※電池の連続使用時間は

使用電池 撮影時^{a)} 再生時^{b)}

充電式リチウム
イオン電池 約35分 約60分
(LIP-10)

a) 20度で一般的な撮影操作を連続して行
った場合の時間の目安。電源入/切などを繰
り返すと、これよりも短くなります。

b) 本体の液晶画面で再生時

■電池残量表示についてのご注意

電池残量を確認するときは、電源を入れ
た後、必ず約10秒以上経過してから画面
表示ボタンを押して電池残量表示を出し
てください。電源を入れた直後または
「再生」から「カメラ」に切り換えた直
後に画面表示ボタンを押すと、電池の状
態が不安定なため、約10秒間、電池残量
表示が表示されません。

電池残量表示は、「カメラ」時のみで
「再生」時は表示されません。

■ご注意

・充電式リチウムイオン電池で撮影する場
合には、電池の消耗による失敗を防ぐため、
充分に充電した充電式リチウムイオン電
池をお使いください。

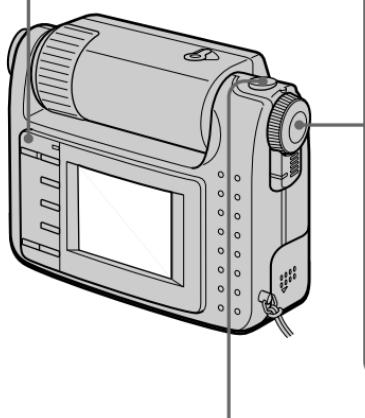
・周囲の温度や電池の状態によっては、充電
時間や持続時間が異なる場合があります。

・充電中に電源/ファンクションダイヤルを
「カメラ」、「再生」または「PC」にす
ると、充電は中断されます。電源/ファン
クションダイヤルを「切」にすると再び充電
が始まります。

・充電式リチウムイオン電池を装着したま
ま、ACパワーアダプターを使用した場合、
DC IN端子からプラグを抜くと、電源が切
れます。この場合、電源/ファンクションダ
イヤルを一度「切」に戻し、「カメラ」、
「再生」または「PC」にするか、シャッタ
ーボタンを軽く押すと電源が復帰します。

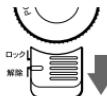
2 撮影する

電源ランプ



- ① ファンクションロックを下に押し下げ、「解除」に合わせる。

ロックがはずれ、電源 / ファンクションダイヤルを回せるようになります。



- ② 電源 / ファンクションダイヤルを回し、「カメラ」に合わせる。

電源ランプが点灯し、画面にレンズがとらえた画像が映ります。



- ③ シャッターを軽く押す。

露出の自動調節がロックされ、画面にAE(自動露出)ロック表示(●)が出ます。



- ④ シャッターを下まで押す。

画面に映っている静止画像が撮影され、
■マークが表示され記録されます。

約1.5秒後に静止画像からレンズが
とらえた画像に変わります。

次の画像を撮影できます*。



↓ 撮影枚数

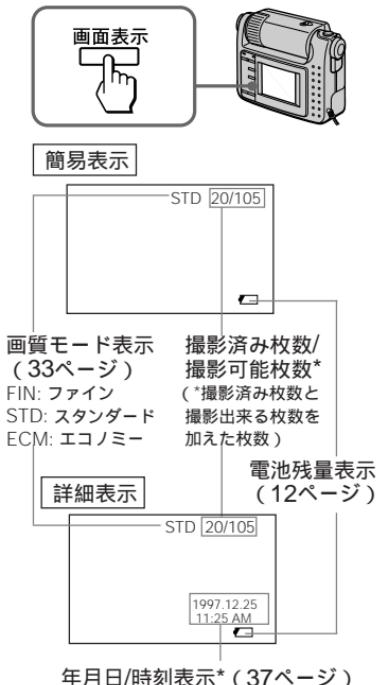


*どのボタンも押さないと、30秒後にオート液晶オフ機能が、さらに30秒後にはオートパワーオフ機能が働きます（12ページ）。

撮って見る(つづき)

撮影中の表示

通常のレンズからの画像を表示中、画面表示ボタンを押すと、押す度に簡易表示→詳細表示→表示なしの順に切り換わります。これらの表示は記録されません。



*日時を設定する

初めてお使いになるとき、「日時を設定して下さい」と表示されます。そのままでも撮影はできますが、日時を設定すると便利です(37ページ)。

液晶画面の明るさを調節する

底面の明るさ+/-ダイヤルで調節します。



オート撮影とマニュアル撮影
本機では、次の2つの撮影モードが選べます。

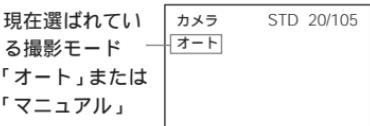
□ オート撮影

AE(自動露出)およびAWB(自動ホワイトバランス)機能により、明るさ、シャッタースピード、フラッシュなどは全て自動的に調節されます。

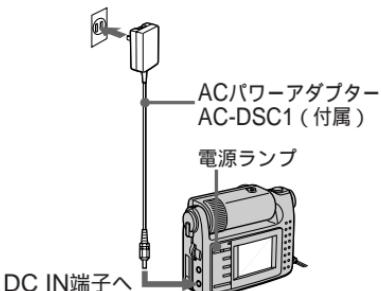
□ マニュアル撮影

カメラメニューで明るさ補正(34ページ)、シャッタースピード(35ページ)、フラッシュ設定(36ページ)などが選択できます。

現在の撮影モードは、電源/ファンクションダイヤルを「カメラ」に切り換えたときに、3秒間画面に表示されます。



コンセントにつないで使う
室内での長時間の撮影や再生には、ACパワーアダプターを使って屋内のコンセントから電源をとります。



フラッシュ撮影をする

フラッシュボタンを押します。フラッシュランプが点滅し、液晶画面から画像が消え、電源ランプも消えます。



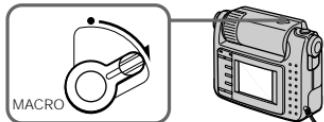
約12秒後、画像が出て、フラッシュ表示(♪)が出たら、いつでもフラッシュ撮影ができます。

フラッシュ表示が表示中にフラッシュボタンを押すとフラッシュ表示が消え、フラッシュ撮影が解除されます。また、フラッシュ表示が出てからシャッターを押さずにしばらく経過すると、自動的にフラッシュ撮影は解除されます。

光量不足マーク(※)が出たら、フラッシュ撮影をお勧めします。

被写体に接近して撮影する

マクロレバーを矢印方向に回します。約25cm~8cmまでの接写ができます。画面にマクロ表示(✳)ができます。

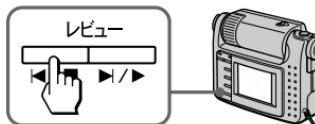


矢印の逆方向にカチッと止まるまで回すと通常の撮影モードに戻ります。ピントは液晶画面を見ながらマクロレバーで調節してください。

■ 正確にピントを合わせるには
本機のビデオ出力端子とテレビのビデオ入力端子を接続し、大きな画面で確認することをお勧めします。(45ページ)

撮影した画像を確かめる (レビュー)

今まで撮影した画像を表示できます。レンズからの画像表示時、レビューーー▶◀/■または▶▶/▶ボタンを押します。



一番最後に撮った
画像が表示されます。



▶◀/■ボタンを押す度に前に撮った
画像が、▶▶/▶ボタンを押す度に後
で撮った画像が順に表示されます。
戻るボタンを押すか軽くシャッター
ボタンを押すと元の画像に戻ります。
(10秒以上どのボタンも押さ
ないときも、元に戻ります。)

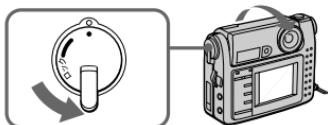
レビュー表示中の画像を削除する
削除ボタンを押します。削除確認画
面が表示されます。(43ページ)

画像を消したくないとき
誤って削除されることを避けるため
に、大切な画像をプロジェクト(誤削除
防止)指定できます。(42ページ)

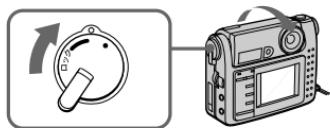
撮って見る（つづき）

レンズ部を回転させて撮る (対面撮影)

自分を撮ったりするときや、低い位置で撮るときは、レンズ部を回転させ、液晶画面と向き合って撮影できます。マーク(•)が合うようにロックレバーを下図の矢印の向きに回し、レンズ部の角度を調節します。(対面撮影のときは、レンズ部を180度回転させます。)



角度を調節したら、ロックレバーを下図の矢印方向に回し、レンズ部を現在の位置で安定させます。



対面撮影時、液晶画面に映る画像は鏡のように映りますが、正常に撮影されます。

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、デジタルスチルカメラを動かしすぎないことです。ふらつかないように、安定した姿勢で撮影しましょう。

低い位置で撮る姿勢 (ローアングル)

レンズ部を上向きに調節する。



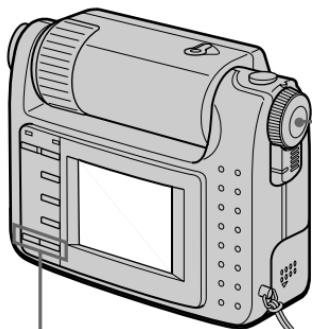
液晶画面を見やすい位置に固定して、レンズ部の角度を被写体に向けて調節する。レンズやフラッシュに手が触れないようにする。

ハンドストラップに右手を通しておく。

体がふらつかないように少し足を開く。

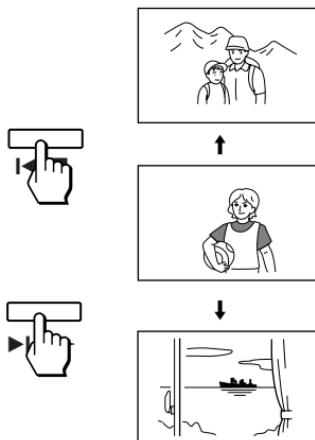


3 再生する



- ② ▶/■、◀/▶ボタンで画像を切り換える。

◀/■ボタンを押す度に前に撮った画像が、▶/▶ボタンを押す度に後で撮った画像が順に表示されます。



- ① ファンクションロックを解除し(①)、電源/ファンクションダイヤルを回して「再生」に合わせる(②)。

電源ランプが点灯し、最後に撮影された静止画像が映ります*。



* 画像が1枚も撮影されていないときは、「画像がありません」と表示されます。

再生中の表示

通常の1画面再生中、画面表示ボタンを押すと、押す度に簡易表示→詳細表示→表示なしの順に切り換わります。

簡易表示



画像番号
(スライド
ショー再生
時:再生中の
画像番号/再生
対象枚数)

画質モード表示 (33ページ) FIN: フайн STD: スタンダード ECM: エコノミー

詳細表示



再生画像の
記録日付
1997.12.25

表示中の画像を削除する

削除ボタンを押します。(43ページ)

プリンパペする

プリンパ枠をつけて撮影した画像を、デジタルカラープリンターDPP-M55（別売り）に転送し、簡単に1/16サイズの16枚の画像を1枚の16分割シールにプリントすることができます。操作は、本機のメニューで行います。デジタルカラープリンターの取扱説明書もご覧ください。

1

プリンパ枠を選ぶ

画像の回りに付けるプリンパ枠を選びます。

10種類の中から選べます。プリンパ枠は別売りのパソコン接続キットDSKIT-PC4を使って、入れ換えることもできます。また、プリンパ枠をつけて撮った画像は16分割プリントだけでなく、全画面プリントもできます。



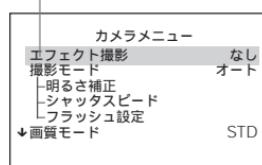
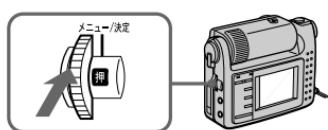
プリンパ枠

- ① ファンクションロックを「解除」に合わせてから、電源 / ファンクションダイヤルを回し、「カメラ」に合わせる。

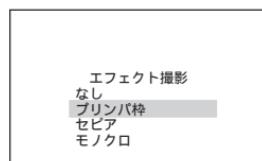


- ② メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューが出ます。

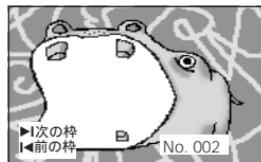
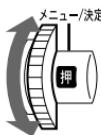
選ばれている項目がハイライト（カーソル）表示



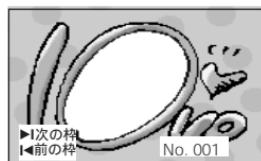
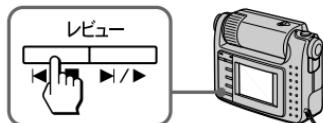
- ③ メニュー / 決定ジョグダイヤルを回して「エフェクト撮影」を選び、メニュー / 決定ジョグダイヤルを押す。
エフェクト撮影メニューが出ます。



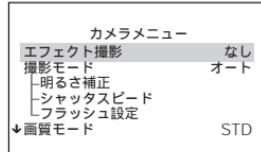
- ④ メニュー/決定ジョグダイヤルを回して「プリンパ枠」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
プリンパ枠が表示されます。



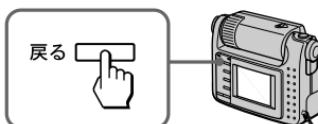
- ⑤ レビューー◀/■または▶/▶ボタンを押して、プリンパ枠を選びます。
◀/■、▶/▶ボタンを押す度にプリンパ枠が切り換わります。プリンパ枠は全部で10種類あります。



- ⑥ メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
プリンパ枠が選ばれ、カメラメニューに戻ります。



- ⑦ 戻るボタンを押す。
カメラメニューが消えます。選んだプリンパ枠が表示されています。



通常の撮影に戻す
手順④で「なし」を選びます。

ご注意
電源をいったんオフにすると、次に電源を入れたときには通常の撮影に戻ります。

プリンパする（つづき）

2 撮影する

シャッターを下まで押す。

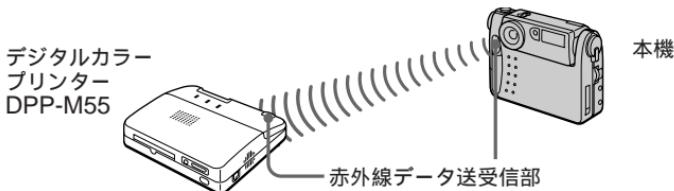
画像が選んだプリンパ枠に記録されます。約1.5秒後に静止画像からレンズがとらえた画像に変わります。次の画像を撮影できます。

△違うプリント枠で撮影するには
「プリンパ枠を選ぶ」の手順2から7を行
います。エフェクト撮影で「なし」を選
ぶと、枠なしで撮影されます。

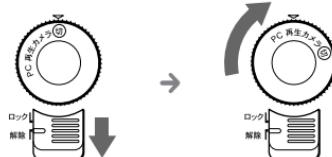
■ご注意
1枚撮影以外の撮影モードではプリンパ
枠撮影はできません。

3 シールをプリントする

① プリンターの電源を入れ、それぞれの赤外線データ送受信部が向かい合うよう
にする。(約10~30cm、中心からの左右角度15°の範囲に置きます。)



② ファンクションロックを「解除」
に合わせてから、電源／ファン
ーションダイヤルを回し、「再
生」に合わせる。



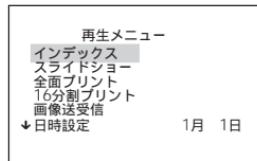
■ご注意

- 送信機と受信機は送受信可能範囲に置
き、遠ざけ過ぎたり、近づけ過ぎたりしな
いでください。送受信ができなかったり、
ノイズが発生する原因になります。

- 送受信部を手や物などでおおわないで
ください。
- 壁や不透明なガラスなどは赤外線を通
しません。なお、ガラスなどを通すと、伝
送距離が短くなります。

③ メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

再生メニューが出来ます。



④ メニュー/決定ジョグダイヤルを回して「16分割プリント」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

16分割プリントメニューが出来ます。



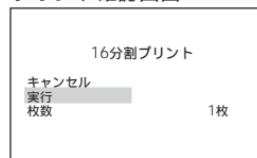
⑤ プリントする画像を選ぶ。

今再生している画像を16個1枚にプリントする
メニュー/決定ジョグダイヤルを回して「この画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。すぐにプリント確認画面が出来ます。

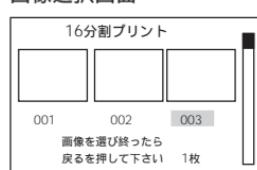
他の画像または複数の画像を16個1枚にプリントする

- ① メニュー/決定ジョグダイヤルを回して「選択画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出来ます。

プリント確認画面



画像選択画面



1枚のプリントに入れられる画像の枚数は？

1画像から16画像までの画像を1/16サイズで16枚、1つのプリントに入れられます。

プリンパする（つづき）

-
- ② 画像を選びプリント指定する。

メニュー/決定ジョグダイヤルを回して画像を選び、押してプリント指定をします。指定された画像の画像番号が反転表示になります。（もう一度押すと、プリント対象ではなくなります。）画像は16個まで選べます。16個未満の画像を選んだときは、16個になるまで同じ画像を左上から順番にくり返し入れてプリントします。

- ③ 戻るボタンを押す。

プリント確認画面が出ます。

- ⑥ 一度に2枚以上プリントするときは、プリント枚数を設定する。

① メニュー/決定ジョグダイヤルを回して「枚数」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

② メニュー/決定ジョグダイヤルを回して設定する。

上に回すと枚数が増え（最大25枚）、下に回すと枚数が減り（最小1枚）ます。

③ 設定が終わったら、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

- ⑦ メニュー/決定ジョグダイヤルを回して「実行」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

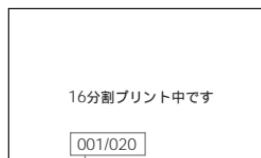
- ⑧ プリンターの挿入口にプリントペーパーを1枚

ずつ入れる。手順⑥で複数の枚数を指定した時
も1枚ずつ手差しで挿入してください。

プリントが始まります。

プリントが終わると、再生メニュー画面に
戻ります。通常画面に戻るには戻るボタン
を押します。

プリント実行画面



※プリントを途中で中止する

戻るボタンを押します。

途中で操作を中断したいときも戻るボタ
ンを押します。

■ご注意

16分割シールをプリントする場合、オー
トフィーダーを使用できません。

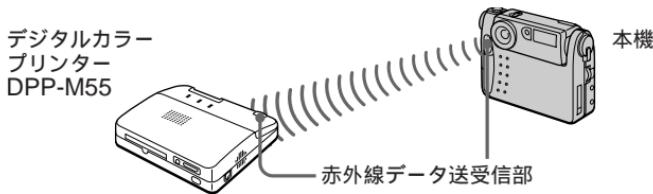
赤外線通信を行う

ここだけ
読みでも
使えます

本機と次の機器との間で赤外線通信で画像データのやりとりができます。

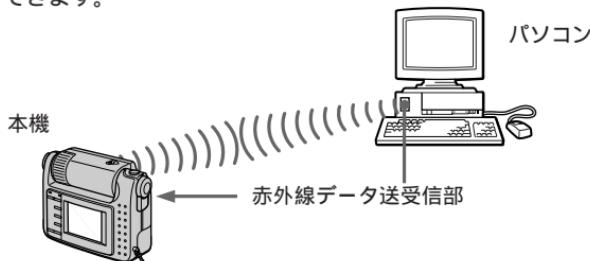
- ① ソニーデジタルカラープリンター（DPP-M55など）
☞18、46ページ

本機で撮影した画像をプリンターに送り、プリントします。



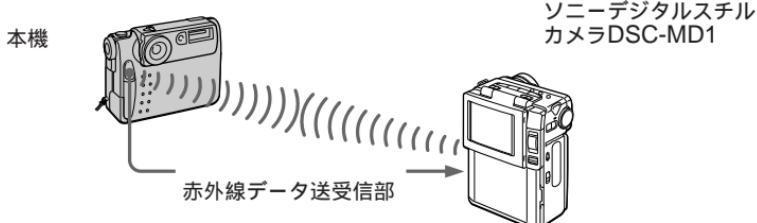
- ② IrDA対応のパソコン（IBM PC/ATおよびその互換機、一部のNEC PC-98シリーズ）☞49ページ

本機で撮影した画像をパソコンに転送、保存、加工したり、画像データのやりとりができます。



- ③ 赤外線データ通信システム対応機器（ソニーデジタルスチルカメラDSC-MD1など）☞52ページ

画像データのやりとりができます。

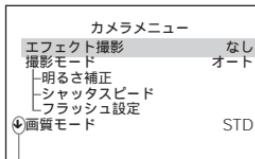


メニュー一覧

本機のメニューには、撮影時のカメラメニュー、再生時の再生メニュー、PCとの通信時のPCメニューの3つがあります。

カメラメニュー

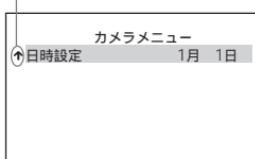
撮影の条件やモードを設定するメニューです。電源 / ファンクションダイヤルが「カメラ」の位置にあるときに呼び出せます。



次ページへ

メニュー/決定ジョグダイヤルを回してページを切り替えます。

前ページへ



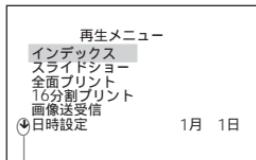
PCメニュー

電源 / ファンクションダイヤルが「PC」の位置にあるときに呼び出せます。

<p>エフェクト撮影メニュー 画像にプリント枠を付けたり、セピア、モノクロ加工をします。 →18、31、32ページ</p>	<p>明るさ補正メニュー 逆光補正などに使用します。 →34ページ</p>
<p>シャッタースピードメニュー シャッタースピードを選択します。 →35ページ</p>	<p>フラッシュ設定メニュー フラッシュの明るさを調節します。 →36ページ</p>
<p>画質モードメニュー 記録時の画質モードを切り替えます。 →33ページ</p>	<p>日時設定メニュー 画像に記録される日時の時計を合わせます。 再生メニューでも選べます。 →37ページ</p>
<p>デジタル入出力設定メニュー パソコン接続キットDSKIT-PC1W/2W/1Mをお使いの場合のみ、パソコンの設定に合わせて通信速度を設定します。→51ページ</p>	

再生メニュー

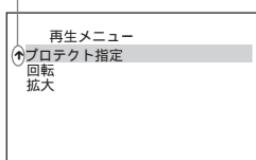
再生のしかたや画像の処理、送受信を設定するメニューです。電源 / ファンクションダイヤルが「再生」の位置にあるときに呼び出せます。



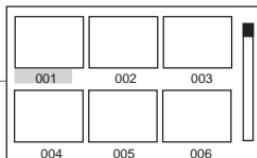
次ページへ

↑ メニュー/決定ジョグダイヤルを回してページを切り替えます。
↓

前ページへ



⌚日時設定メニュー
カメラメニューと同じです。



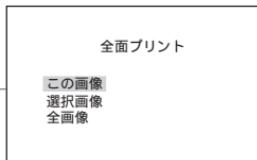
インデックスメニュー

一度に6枚の画像を再生します。
→38ページ



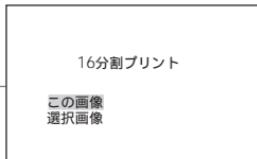
スライドショーメニュー

選んだ画像を順番に自動再生します。
→39ページ



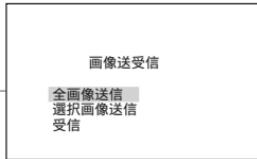
全面プリントメニュー

ソニーデジタルカラープリンターでプリントします。
→46ページ



16分割プリントメニュー

16分割画面をソニーデジタルカラープリンターでシール用にプリントします。
→18、46ページ



画像送受信

赤外線通信システム対応機との間で画像データの送受信をします。
→52ページ



プロジェクト指定メニュー

大事な画像に誤消去防止(プロジェクト)指定します。
→42ページ



回転メニュー

画像を90度ずつ右回転または左回転して表示します。
→40ページ



メニューを選ぶ

本機のほとんどの操作は、メニューを使って行います。メニューの選びかたを一度覚えると、本機のほとんどの操作ができます。

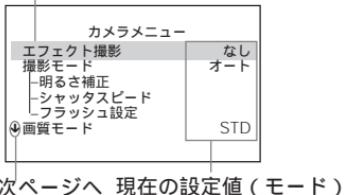
- 1 電源 / ファンクションダイヤルのロックを解除して回し、「カメラ」または「再生」に合わせる。



ダイヤル位置	メニュー
カメラ	カメラメニュー
再生	再生メニュー
PC	液晶消灯*

* メニュー/決定ジョグダイヤルを押すと
PCメニューが表示されます。

- 2 メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
画面にメニューが表示され
選ばれている項目がハイライト
(カーソル) 表示



次ページへ 現在の設定値 (モード)

- 3 メニュー/決定ジョグダイヤル
を回して選びたい項目にカー
ソルを移動する。
- 4 メニュー/決定ジョグダイヤル
を押す。
手順3の項目が選ばれ、その項
目のメニューが表示されます。

メニュー/決定ジョグダイヤ
ルの使いかた



メニュー項目を選ぶ

上に回す カーソルを上に移動

下に回す カーソルを下に移動

画面上の位置を移動する

上に回す 左方向へ移動

下に回す 右方向へ移動

画像を選ぶ

上に回す 番号の小さい画像に移動

下に回す 番号の大きい画像に移動

数を入力する

上に回す 数が増える

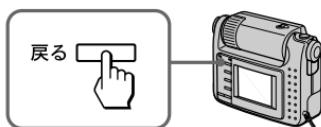
下に回す 数が減る

指定または確定する

メニュー/決定ジョグダイヤルを押
します。(指定をしているときは、も
う1度押すと指定が解除されます。)

メニュー操作を中止する

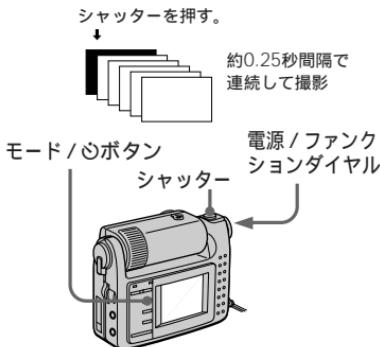
戻るボタンを押します。1つ前の画
面に戻ります。カメラメニューまたは
再生メニューを表示していたとき
は、通常のレンズからの画像または
再生画像表示に戻ります。



連続して撮る(連写)

1度シャッターを押すと、その時点から画質モードによって5枚から20枚の画像の連写撮影ができます。

いつ使う? スポーツなど、一連の速い動きを撮影するときなど。



- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせる。
- 2 画面に「 連写」が表示されるまで、モード / 心ボタンを押す。
- 3 シャッターを押して撮影する。シャッターを押している間、連続して約0.25秒間隔でファインモードなら5枚、スタンダードモードなら10枚、エコノミーモードなら20枚の画像を撮影します。途中でシャッターを離すと、連写は止まります。

■ご注意

- ・連写撮影中は次の操作はできません。
 - フラッシュ撮影
 - シャッターを軽く押す自動露出固定
- ・撮影可能枚数が最大連写可能枚数に満たない場合は、撮影可能枚数を撮りきった時点で「メモリーがいっぱいです」というメッセージが表示されます。

撮影モードを切り換える

モード / 心ボタンを押す度に撮影モードが次の順に切り換わり、画面にアイコンが表示されます。



- 連写(連写*): シャッターを押している間連続して撮影する。
- タイムマシン(タイム*): シャッターを押した時点の前後を連続して撮影する。
- アニメ撮影(アニメ*): シャッターを押した時点から4コマ、5枚、計20枚の画像を連続再生用に撮影する。
- ダブルショット(ダブル*): 1画面で2度シャッターを切って撮影する。
- レビュー撮影(レビュー): 直前に撮った画像を見ながら撮影する。
- セルフタイマー撮影(心セルフ*): シャッターを押してから、10秒後に1枚を自動撮影する。
- 1枚撮影(アイコン表示なし): 1回シャッターを押すと、1枚撮影する。(通常撮影)

*アイコンの後の「連写」などの文字は、約3秒後に消えます。

■ご注意

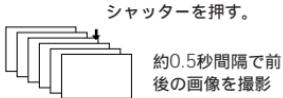
レビュー撮影以外の撮影モードでは、撮影後は1枚撮影に戻ります。ただし、再度、モード / 心ボタンを押すと前の撮影のタイプに1回で切り换わります。

※画質モード(スタンダードモード/エコノミーモード/ファインモード)
本機には3通りの画質モードがあります。詳しくは、「画質モードを選ぶ」(33ページ)をご覧ください。

シャッターを押す前後を連続して撮る (タイムマシン)

常に画像を記録しておくことにより、シャッターを押した時点の前後の画像を連続して撮影できます。

いつ使う? 1番良いシャッターチャンスの画像を選ぶときなど。



- 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせる。
- 画面に「 タイム」が表示されるまで、モード / 心ボタンを押す。
- シャッターを軽く押す。
0.5秒間隔で画像が取り込まれていきます。画面の画像も0.5秒間隔で切り換わります。（シャッターを離すと画像の取り込みも解除されます。）
- シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。
シャッターを押した前後の画像を0.5秒間隔で画質モードによって次の枚数を連続撮影します。

画質モード	前	後	合計
エコノミーモード	3枚	3枚	6枚
スタンダードモード	3枚	3枚	6枚
ファインモード	2枚	2枚	4枚

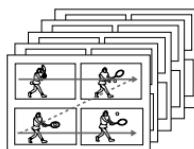
ご注意

- ・タイムマシン撮影中は次の操作はできません。
 - フラッシュ撮影
 - シャッターを軽く押す自動露出固定
- ・撮影可能枚数が、連写枚数に満たない場合は、タイムマシンを選択しようと、「メモリがいっぱいです」というメッセージが表示されます。
- ・シャッターを軽く押してから、0.5~1秒以内にシャッターを下まで押して撮影すると、シャッターを押す前の写真是1枚または2枚しか撮影されません。

動画撮影をする (アニメ撮影)

シャッターを押したときから1画面に4枚の画像を納めて、5画面（20画像）連続して撮影できます。再生時には20画像が連続して再生されます。

いつ使う? 動きのある画像をアニメーションのように再生したいとき。



- 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせる。
- 画面に「 アニメ」が表示されるまで、モード / 心ボタンを押す。

1画面で2回シャッターを切る (ダブルショット)

2枚の画像を、1画面に撮ることができます。

いつ
使う?

人物と景色、人物と名刺などを並べて撮りたいとき。



- 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせる。
- 画面に「■ダブル」が表示されるまで、モード/心ボタンを押す。
- 左側に入れたい画像を、シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。
1枚目の画像が左側に記録されます。



今記録した画像 レンズがとらえた
画像

- 右側に入れたい画像をシャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。
右側にも画像が記録されます。

ご注意

- 左側の画像を撮影後に戻るボタンを押すと右側への撮影をせずにダブルモードは解除されます。
- 左側の画像を撮影後にレンズ部を回転させるとダブルモードは解除されます。

- シャッターを軽く押してから、シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。
シャッターを押したときから連続して1/10秒間隔で4枚の画像を(上の矢印の順序で)1画面に納めて撮影します。続けて、5画面(20画像)撮影します。アニメ撮影した画像を再生すると、20コマの画像がアニメーションのように動きのある画像として連続して再生されます。

ご注意

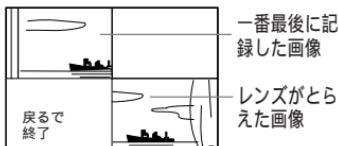
- アニメ撮影中は、フラッシュ撮影はできません。
- テレビなどの大きな画面で再生すると粗い画像になりますが、これは再生画像は4倍に拡大して再生されるためです。
- アニメ撮影した画像を他のDSC-F3に転送すると、転送先ではアニメ再生できません。
- アニメ撮影した画像をパソコンへ転送した後、再度カメラに転送しなおしてもアニメ再生はできません。

合成用に複数の画像を撮る(レビュー撮影)

別売りのパソコン接続キットDSKIT-PC4を使って、複数の画像を1枚の画像に合成することができます(Windows用のみ)。詳しくは、パソコン接続キットの取扱説明書をご覧ください。

いつ使う? 複数の画像を1枚のパノラマ写真や大きな画像に合成したいとき。

- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせる。
- 2 画面に「レビュー」が表示されるまで、モード/心ボタンを押す。
- 3 1枚に合成したい画像を、シャッターを下までゆっくり押しきって撮影する。
シャッターを押すたびに画像が記録されていきます。1/4サイズで表示されますが、実際にはフル画面で記録されています。最高200枚まで記録できます。後で1枚の画像に合成するためには、それぞれ1/4程重ねて撮影します。



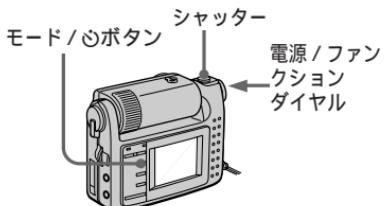
レビュー撮影を終了させるには戻るボタンを押します。

■ご注意

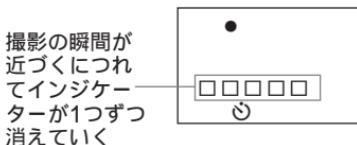
- 撮影枚数は撮影モードによって異なります。
- レンズを対面撮影にした時は、レビュー撮影はできません。

セルフタイマー撮影をする

シャッターを押してから、10秒後に自動撮影できます。



- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせる。
- 2 画面に「セルフ」が表示されるまで、モード/心ボタンを押す。
- 3 シャッターを軽く押す。
AEロック表示(●)が出ます。
- 4 シャッターを下まで押す。
10秒後に自動的に撮影されます。

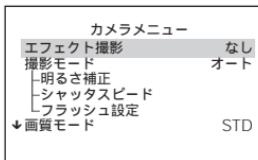


セピアで撮る

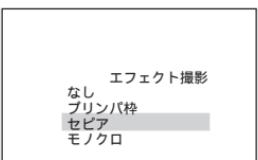
画像をセピア色で撮影することができます。

いつ使う?
色あせた昔の写真のような
趣きで撮りたいときなど。

- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューが出ます。

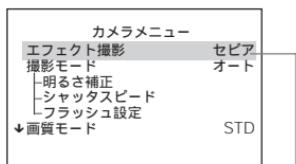


- 2 「エフェクト撮影」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
エフェクト撮影メニューが出ます。



- なし（通常撮影）
通常のカラー画像でプリンタ枠を付けずに撮影する。
- プリント枠
プリンタ枠を選び、付けて撮影する。（18ページ）
- セピア
色あせた昔の写真のような趣きで撮影する。
- モノクロ
白黒の報道写真のような趣きで撮影する。（32ページ）

- 3 「セピア」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューに戻ります。



セピアモード

- 4 戻るボタンを押す。
カメラメニューが消えます。

- 5 シャッターを軽く押してから、シャッターを下までゆっくり押ししきって撮影する。
画像がセピア色で記録されます。

通常のカラー撮影に戻す
手順2で「なし」を選びます。

いろいろな撮影のしかた

ご注意

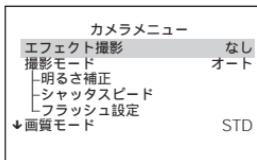
電源をいったんオフにすると、次に電源を入れたときには通常の撮影に戻ります。

モノクロで撮る

画像を白黒で撮影することができます。

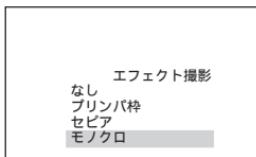
いつ使う? 報道写真のような趣きで撮りたいときなど。

- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。カメラメニューが出ます。



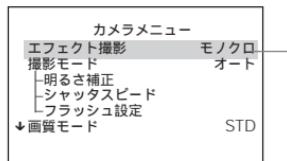
- 2 「エフェクト撮影」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

エフェクト撮影メニューが出ます。



- 3 「モノクロ」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

カメラメニューに戻ります。



モノクロモード

- 4 戻るボタンを押す。
カメラメニューが消えます。

- 5 シャッターを軽く押してから、シャッターを下までゆっくり押ししきって撮影する。
画像が白黒で記録されます。

通常のカラー撮影に戻す
手順2で「なし」を選びます。

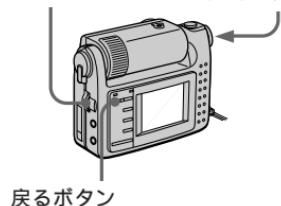
■ご注意

電源をいったんオフにすると、次に電源を入れたときには通常の撮影に戻ります。

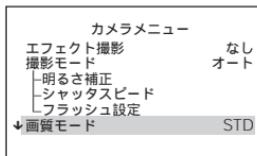
画質モードを選ぶ

3通りの画質モードを選んで撮影できます。画質モードによって撮影できる枚数が異なります。

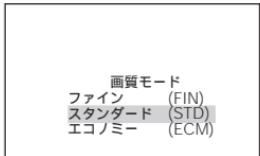
メニュー/決定ジョグダイヤル 電源 / ファンクションダイヤル



- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューが出ます。



- 2 「画質モード」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
画質モードメニューが出ます。

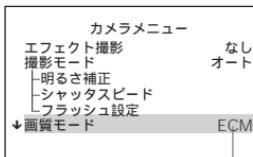


- ファイン(FIN):
画質を優先するときに使う。(最大60枚撮影可能)
□ スタンダード(STD):
標準画質モード。(最大105枚撮影可能)

□ エコノミー(ECM):

撮影枚数を優先するとき
に使う。(最大200枚撮
影可能)

- 3 画質モードを選び、メニュー/
決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューに戻ります。



選ばれたモード

- 4 戻るボタンを押す。
カメラメニューが消えます。

△ 画質モードの違いは?

画像は、JPEGという方式で圧縮処理をしてから記憶されますが、記録されるときに割り当てるられるメモリー容量が画質モードにより次のように異なります。
(画素数は、画質モードに関係なく640 X 480で、圧縮前のデータ量は約450 Kバイトです。)

ファインモード	120 Kバイト
スタンダードモード	64 Kバイト
エコノミーモード	32 Kバイト

□ ご注意

画像によっては、画質モードを換えても、画質に差がない場合もあります。

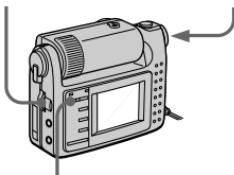
いろいろな撮影のしかた

明るさを補正する

明るさはオート撮影時は自動調節されています。撮影状態に合わせて、被写体の明るさを補正して撮影することもできます。（マニュアル撮影モード）

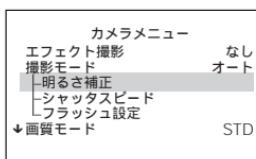
いつ使う?
逆光や、スポットライトなどで被写体の明るさが背景と極端に違うとき。

メニュー/決定ジョグダイヤル 電源 / ファンクションダイヤル

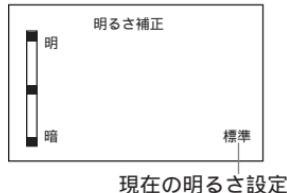


戻るボタン

- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューが出ます。

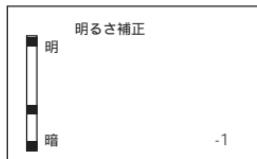


- 2 「明るさ補正」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
明るさ補正メニューが出ます。

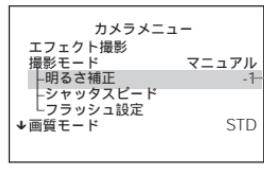


- 3 メニュー/決定ジョグダイヤルを回してカーソルの位置で明るさを調節する。

背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。



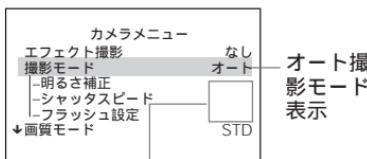
- 4 メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューに戻ります。



新しく設定された明るさ

- 5 戻るボタンを押す。
カメラメニューが消えます。

オート撮影モードに戻す
カメラメニューで、「撮影モード」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。



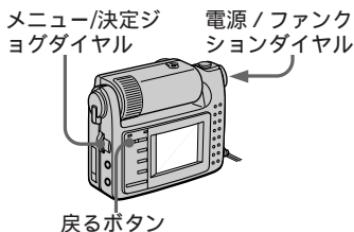
オート撮影モードが選択されると、個々の設定値は表示されなくなります。

「オート」が表示され、明るさ補正是「標準」に設定され、撮影時には自動調節されます。

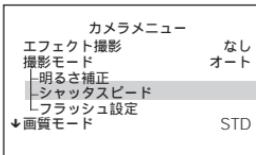
シャッタースピードを選ぶ

シャッタースピードは、オート撮影時は自動調節されています。シャッタースピードを固定して撮影することもできます。（マニュアル撮影モード）

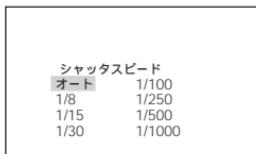
背景の明るさや蛍光灯などの光源、被写体の動きの速さなどに適した撮影をしたいとき。



- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューが表示されます。



- 2 「シャッタースピード」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
シャッタースピードメニューが表示されます。



オート 被写体の明るさによって最適なシャッタースピードが選ばれる。

1/8 夕暮れや夜景など、暗い背景で撮影するとき

1/30 室内で撮影するとき

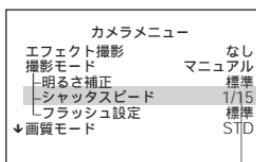
1/100 蛍光灯などちらつきのある照明で撮影するとき

1/250 スポーツなどの動きの速いものを撮影するとき

1/1000

- 3 「シャッタースピード」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

カメラメニューに戻ります。



新しく設定したシャッタースピード

- 4 戻るボタンを押す。
カメラメニューが消えます。

■ご注意

- ・シャッタースピードを固定すると、そのスピードに適さない被写体の明るさでは画質が劣化する場合があります。
- ・速いシャッタースピードで非常に明るい被写体を撮影した場合、画像の上下にすじが出ることがありますが、故障ではありません。
- ・シャッタースピードを1/8または1/15に設定したときは、フラッシュ撮影はできません。フラッシュ撮影をするときは、1/8と1/15以外のシャッタースピードを選択してください。

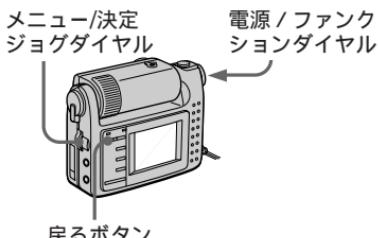
※オート撮影モードに戻す

カメラメニューで、「撮影モード」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。「オート」が表示され(34ページ)、シャッタースピードは「オート」に設定されます。

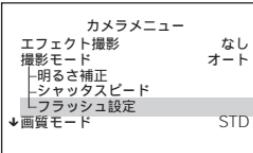
フラッシュの明るさを調節する (フラッシュ設定)

フラッシュの明るさは、オート撮影時は自動調節されていますが、調節することもできます。(マニュアル撮影モード)

いつ使う? フラッシュ撮影時に被写体の配置によって、希望の明るさにならないときなど。

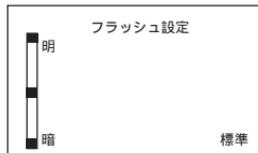


- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」に合わせて、メニュー / 決定ジョグダイヤルを押す。カメラメニューが出ます。

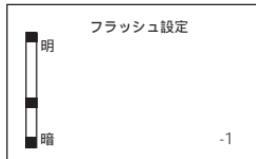


- 2 「フラッシュ設定」を選び、メニュー / 決定ジョグダイヤルを押す。

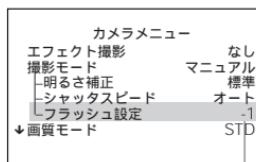
フラッシュ設定メニューが出ます。



- 3 メニュー / 決定ジョグダイヤルを回して、カーソルの位置でフラッシュの明るさを設定する。



- 4 メニュー / 決定ジョグダイヤルを押す。
カメラメニューに戻ります。



新しく設定された明るさ

- 5 戻るボタンを押す。
カメラメニューが消えます。

■フラッシュ設定のヒント

被写体の色が濃いときや背景が暗いときは、明るめにフラッシュ撮影されることがあります。このような場合には、フラッシュを暗い方向に設定してください。逆に被写体の色が薄いときや背景が明るいときは、暗めにフラッシュ撮影されることがあります。このような場合には、フラッシュを明るい方向に設定してください。

フラッシュを適切な明るさに設定するためには、試し撮りをして確認することをお勧めします。

※オート撮影モードに戻す

カメラメニューで、「撮影モード」を選び、メニュー / 決定ジョグダイヤルを押します。「オート」が表示され(34ページ)、フラッシュ設定は「標準」に設定されます。

日時を記録する (時計合わせ)

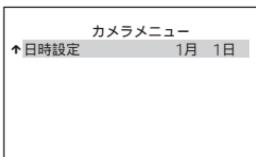
時計を合わせておくと、自動的に撮影日時が記録されます。プリント時には、プリントメニューで日時を入れるかどうかを選べます。
次の手順で時計を合わせます。

メニュー/決定ジョグダイヤル 電源 / ファンクションダイヤル

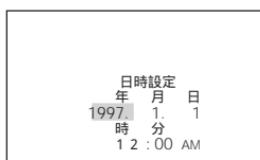


戻るボタン

- 電源 / ファンクションダイヤルを「カメラ」または「再生」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
カメラまたは再生メニューが出ます。



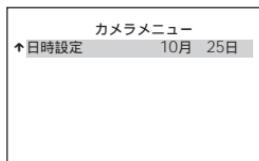
- 2ページ目の「日時設定」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
日時設定メニューが出ます。
「年」の欄が選ばれています。



3 メニュー/決定ジョグダイヤルを回して年を設定し、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

「月」の項目が選ばれます。

- 手順3と同様に、月、日、時、分の項目を設定する。
分を設定し、メニュー/決定ジョグダイヤルを押すと、メニューに戻り、時計が動き始めます。



正確な時刻に合わせるには
分を設定し終わったら、時報と共に
メニュー/決定ジョグダイヤルを押し
ます。

- 戻るボタンを押す。
メニューが消えます。

時計を合わせ直す

日時設定メニューを表示し、メニュー/決定ジョグダイヤルを押して、合わせ直す
覽を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを回して設定し直します。

時刻の記憶について

時刻の記憶には充電式リチウムイオン電池LIP-10を使っています。充電完了の状態で約7ヶ月間は時計が動きます。電池を使いきった状態でも、約2ヶ月間は、時計データは更新されますが、常に充電してお使いになることをお勧めします。充電式リチウムイオン電池を交換する場合は、10分以内に交換してください。電池がない状態でも、10分間は時計データが更新されます。もし、日付・日時の設定が解除された場合は、充電式リチウムイオン電池を充電後、時計を合わせてください。

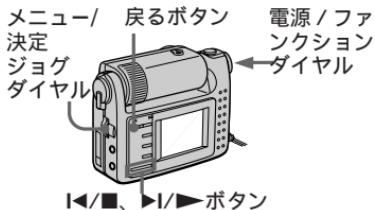
いろいろな撮影のしかた

一度に複数の画像を再生する (インデックス再生)

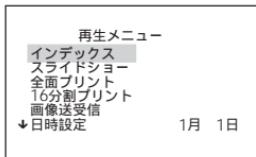
撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。6枚の中から画像を選び1画面に表示することもできます。

いつ
使う?

画像を検索するときなど。



- 1** 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせて、メニュー / 決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューが出ます。



- 2** 「インデックス」を選び、メニュー / 決定ジョグダイヤルを押す。
6枚の画像が一度に再生されます
(インデックス画面)。



画像番号

現在表示されている画像が全体の撮影枚数どの部分にあたるかを示す

選んだ画像を1画面表示にする

- ① メニュー / 決定ジョグダイヤルを回して画像を選ぶ。
- ② メニュー / 決定ジョグダイヤル押す。

選んだ画像が1画面の大きさに拡大されます。アニメ撮影された画像は自動的にアニメ再生されます。

違う画像を表示する

I</■、I>/■ボタンで画像を送ります。

I</■ボタン 小さい番号の画像を表示*

I>/■ボタン 大きい番号の画像を表示*

* インデックス画面のときは、6枚単位で送られます。

インデックス画面に戻す
戻るボタンを押します。

通常の再生に戻す

戻るボタンを2回押します。再生メニューが消え、通常の再生画面に戻ります。

アニメ撮影された画像は
インデックス再生では先頭の1画面のみが表示されます。

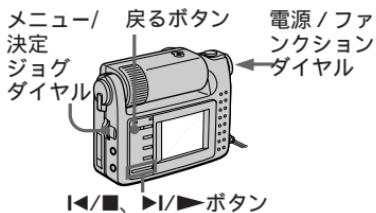


005がアニメ撮影の先頭の画面の場合、次の画面の画像番号は010になる

選んだ画像を順番 に自動再生する (スライドショー)

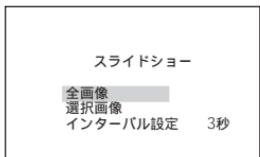
全画像または一部の画像を選んで次々に自動再生できます。

いつ使う? プレゼンテーションをするときなど。



1 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューが出ます。

2 「スライドショー」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
スライドショーメニューが出ます。



- 全画像:全画像を自動再生。
- 選択画像:一部の画像を選んで自動再生。
- インターバル設定:画像が切り換わる間隔を設定(** ~ 20秒)。
** インターバル時間を最短で設定。

3 インターバルを設定する。

- ① 「インターバル設定」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
- ② メニュー/決定ジョグダイヤルを回し時間を設定する。

③ メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

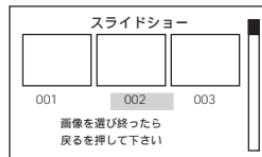
4 再生する画像を選ぶ。
全画像を再生する

「全画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。

選択画像を再生する

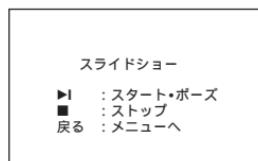
① 「選択画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

② メニュー/決定ジョグダイヤルを回し画像を選び、押して指定をする。指定された画像の番号が反転する。(もう一度押すと、指定が解除される。)



③ 戻るボタンを押す。

5 ▶/▶ボタンで自動再生を開始する。



番号の小さい画像から順に自動再生が始まり、最後まで再生すると、再び最初から再生を繰り返します。

自動再生を途中で一時停止する
▶/▶ボタンを押します。ふたたび押すと自動再生が再開します。

◀/■ボタンを押すと、自動再生前の画面に戻ります。

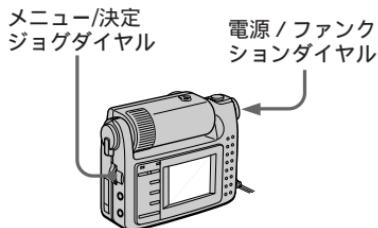
通常の再生に戻す

戻るボタンを2回押します。

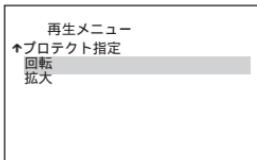
画像を回転させて 再生する(回転)

撮影した画像を回転させることができます。

いつ使う?
縦で撮った画像を再生時に
横にして見たいときなど。



- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューができます。

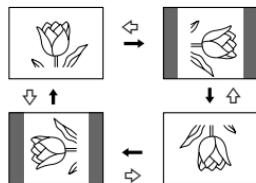


- 2 再生メニューの2ページ目の「回転」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
回転メニューができます。



□ 右回転(下図→方向):
メニュー/決定ジョグダイヤルを押すと、画像を時計方向に90度回転させます。

□ 左回転(下図←方向):
メニュー/決定ジョグダイヤルを押すと、画像を反時計方向に90度回転させます。



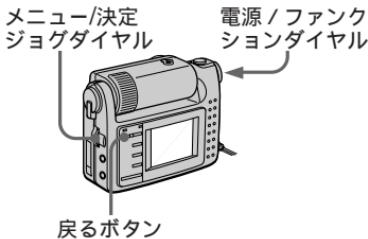
- 3 メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
現在表示されている画像が選んだ方向に90度回転します。

180度、270度回転または元に戻す手順1から3を繰り返します。

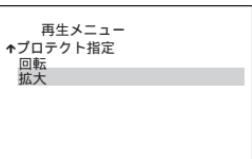
■ご注意
アニメ撮影された画像は回転できません。

画像を拡大して再生する（拡大）

撮影した画像の約1/4に当たる部分を約4倍に拡大して、画面全体に表示できます。

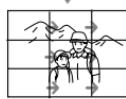
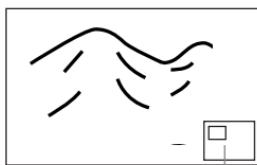


- 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューが出ます。



- 再生メニューの2ページ目の「拡大」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
現在表示している画像の1/4部分が約4倍に拡大され、画面全体に表示されます。
画面の右下に拡大位置を示す枠が表示されます。（表示されていないときは画面表示ボタンを押します。）

- メニュー/決定ジョグダイヤルを回して拡大部分を選ぶ。



拡大位置枠を消す
画面表示ボタンを押します。

拡大表示をやめる
戻るボタンを押します。

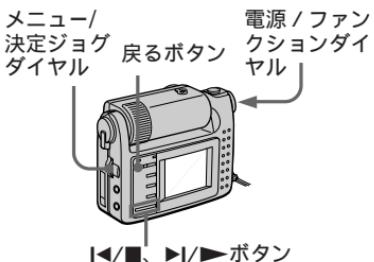
通常の再生に戻す
戻るボタンを2回押します。再生メニューが消え、通常の再生画面に戻ります。

ご注意
アニメ撮影された画像は拡大できません。

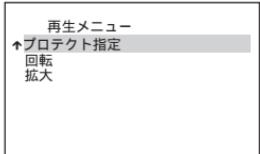
▶画像を残す・消す

大事な画像を残す (プロテクト指定)

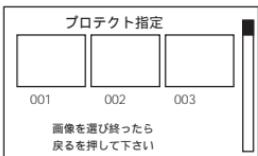
大事な画像を残すために、撮影したすべての画像または画像を選んで誤消去防止(プロテクト)指定ができます。



- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせて、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューが出ます。

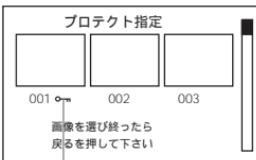


- 2 再生メニューの2ページ目の「プロテクト指定」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
プロテクト指定メニューが出ます。



- 3 プロテクト指定をする画像を選ぶ。

メニュー/決定ジョグダイヤルを回し画像を選び、押してプロテクト指定をします。プロテクトマーク(○)が出ます。(もう一度押すと、指定が解除されます。)



プロテクトマーク

ページを送る

I◀/■、I▶/▶ボタンを押すと、画像を3枚づつ前後に送ることができます。

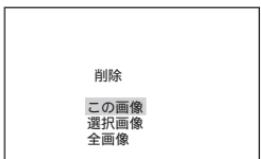
- 4 戻るボタンを押す。
再生メニュー画面に戻ります。

画像を消す(削除)

不要になった画像を削除できます。撮影したすべての画像を一度に削除することも、画像を選んで削除することもできます。



- 1 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせて、削除ボタンを押す。
削除メニューが表示します。



- この画像:今再生していた画像を削除。
- 選択画像:一部の画像を選んで削除。
- 全画像:全画像を一度に削除。

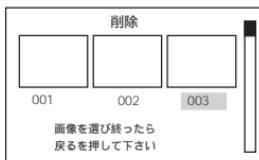
2 削除する画像を選ぶ。

再生している画像を1枚削除する「この画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。
削除実行画面が表示されます。

選択画像を削除する

- ①「選択画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
- ② リフレッシュボタンを押すと3枚づつ前後に送れます。
- ③ メニュー/決定ジョグダイヤルを回して画像を選び、押して指定する。

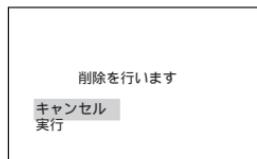
指定された画像の番号が反転表示する。(もう一度押すと、指定が解除される。)



- ③ 戻るボタンを押す。
削除実行画面が表示されます。

全画像を削除する

「全画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。削除実行画面が表示されます。



- 3 「実行」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
画像が削除される過程が表示され、削除が終了すると、再生画面に戻ります。

※撮影時のレビュー再生画像を削除するレビュー再生画面表示時に削除ボタンを押すと、すぐに削除実行画面が表示されます。

ご注意

- ・「この画像」または「選択画像」削除を選んだとき、プロテクト指定された画像は選択できません。また、「全画像」削除を実行したときも、プロテクト指定された画像が含まれていると、「プロテクトされた画像が残っています」と表示され、削除できません。プロテクト指定された画像を削除するには、あらかじめプロテクト指定を解除してください。
- ・アニメ撮影された画像は、5枚まとめて削除されます。
- ・一度削除した画像はもどに戻せません。削除する前に内容を確認してください。

画像を残す
・消す

►撮影した画像を他の機器で使う

接続できる機器

本機のビデオ出力端子、赤外線データ送受信部、デジタルI/O端子を使って、他の機器と画像データのやりとりができます。

赤外線データ送受信部を使う（部）

ソニーデジタルカラープリンター
撮影した画像をプリントできます。（18、46ページ）



デジタルスチルカメラDSC-MD1などの赤外線データ通信システム対応機器
画像のやりとりができます。（52ページ）



デジタルピクチャーハードディスクDPA-1などの赤外線データ通信対応機器
画像の編集などを行います。（52ページ）



本機



デジタルI/O端子と接続

パソコン
画像を取り込んだり、加工できます。（49ページ）



ビデオ出力端子と接続

テレビ
スライドショーなどを見るときに便利です。（45ページ）



カラービデオプリンター
撮影した画像をプリントできます。（48ページ）

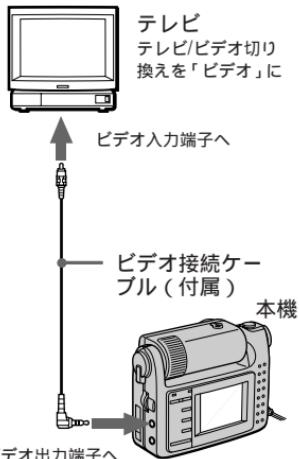


■ご注意

- 接続ケーブルをつなぐときは、本機と接続する機器の電源を切ってから接続ケーブルをつなぎ、再度電源を入れてください。
- 本機を他の機器とつないで長時間ご使用になる場合は、ACパワーアダプターをお使いください。

テレビで見る

ビデオ端子のあるテレビに接続できます。スライドショー再生などを見たり、マクロ撮影でのピント合わせをするときに便利です。



- 1 本機のビデオ出力端子とテレビのビデオ入力端子を接続する。
- 2 テレビのテレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。
- 3 本機で画像を再生する。
テレビ画面に再生画像が映ります。

■ご注意

- ・ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。
- ・ファンクションスイッチの位置が「カメラ」の場合に、レンズ部を回転させ、レンズを液晶画面の方向に向けると、テレビには上下反転した画像が映ります。

プリントする

本機で撮影した画像をプリンターでプリントできます。

お使いになるプリンターの種類によって、2通りの通信方法があります。
お使いになるプリンターの取扱説明書もご覧ください。

[1]IrDA(赤外線データ通信)対応のソニーデジタルカラープリンタ-(DPP-M55など)

→赤外線データ通信を行います。
(46ページ)

[2]ビデオ端子のあるビデオプリンタ-(CVP-M55など)

→ケーブル接続を行います。
(48ページ)

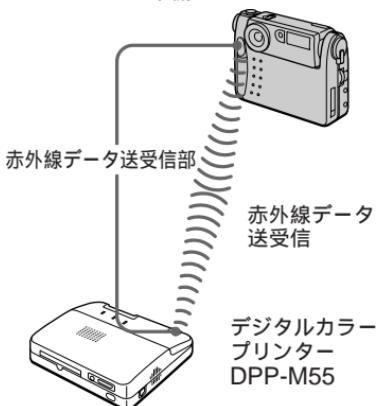
撮影した画像を他の機器で使う

①赤外線データ送受信部を使う方法 (IrDA対応のソニーデジタルカラープリンタ -、DPP-M55など)

本機で撮影した画像を、デジタルカラープリンターDPP-M55（別売）で簡単にプリントできます。プリンパシール用のプリントと通常のプリントの2種類のプリント方法があります。

- 1 プリンターと本機の電源を入れ、それぞれの赤外線データ送受信部が向かい合うようにする。（約10～30cm、中心からの左右角度15°の範囲に置きます。）

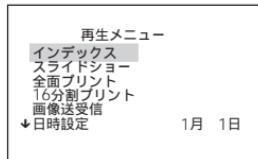
本機



■ご注意

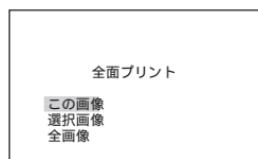
- 送信機と受信機は送受信可能範囲に置き、遠ざけ過ぎたり、近づけ過ぎたりしないでください。送受信ができなかったり、ノイズが発生する原因になります。
- 送受信部を手や物などでおおわないでください。
- 壁や不透明なガラスなどは赤外線を通してません。なお、ガラスなどを通すと、伝送距離が短くなります。

- 2 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせ、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
再生メニューが出ます。



- 全面プリント
フルサイズの画像をプリントする。
- 16分割プリント
1/16サイズの画像を16個、1枚にプリントする。

- 3 「全面プリント」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
全面プリントメニューが出ます。



- この画像:今再生していた画像をプリント。
- 選択画像:一部の画像を選んでプリント。
- 全画像:全画像をプリント。

プリンパシールを作るには
「16分割プリント」を選びます。
操作のしかたは、「プリンパする」（18ページ）をご覧ください。

4 選択 / 決定ジョグダイヤルを回してプリントする画像を選ぶ。

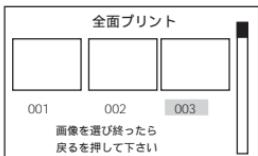
再生している画像を1枚プリントする

「この画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。
プリント実行画面が出ます。

選択画像をプリントする

- ① メニュー/決定ジョグダイヤルを回して「選択画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

画像選択画面が出ます。



ページを送る

◀/■、▶/►ボタンを押すと
3枚づつ前後に送れます。

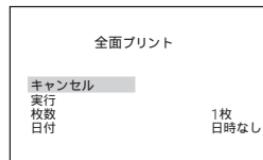
- ② 画像を選びプリント指定する。
メニュー/決定ジョグダイヤルを回して画像を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押してプリント指定をします。指定された画像の画像番号が反転表示になります。(もう一度押すと、プリント対象ではなくなります。)

- ③ 戻るボタンを押す。
プリント実行画面が出ます。

全画像をプリントする

「全画像」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。プリント実行画面が出ます。

プリント実行画面



5 選択 / 決定ジョグダイヤルを回して設定したいプリントの項目を選び、選択 / 決定ジョグダイヤルを押す。

選んだ項目が設定モードになります。

枚数

選択 / 決定ジョグダイヤルを回して、1枚から25枚の間で設定する。

日付

選択 / 決定ジョグダイヤルを回して、日時なし 日付入り
日時入りのうち、プリントしたい項目を選ぶ。

6 選択 / 決定ジョグダイヤルを押す。

設定が有効になります。他の項目も設定するには手順5、6をくり返します。

7 選択 / 決定ジョグダイヤルを回して「実行」を選び、選択 / 決定ジョグダイヤルを押す。

プリントが始まります。



現在の枚数 / 全枚数

プリントが終了すると、再生メニュー画面に戻ります。

プリントを途中で中止する
戻るボタンを押します。途中で操作
を中断したいときも戻るボタンを押
します。

通常の再生画面に戻る
戻るボタンを押します。

途中でメニュー操作を中止するには
戻るボタンを押します。

一度に複数枚数をプリントする
複数枚数をプリントするときは、専用のオ
ートフィーダーをお使いになることをお
勧めします。オートフィーダーを取り付け
ると、自動的にプリントペーパーが給紙さ
れ、1枚ずつプリントペーパーを差し込む
手間が省けます。

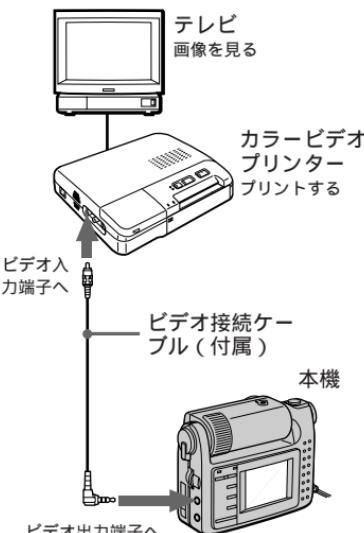
プリンターが途中で止まったときは、オ
ートフィーダーに入っているプリントペー
パーの枚数が不足している場合がありま
す。詳しくは、プリンターとオートフィー
ダーの取扱説明書をお読みください。

■ご注意

16分割シールをプリントする場合、オ
ートフィーダーを使用できません。

②ビデオ端子にケーブルを接 続する方法（ビデオプリン タ、CVP-M55など）

ビデオ端子のあるプリンターに画像
を送りプリントできます。



1 本機のビデオ出力端子とプリ
ンターのビデオ入力端子を接
続する。

2 本機で画像を再生する。
テレビ画面に再生画像が映ります。

3 プリンターで画像を取り込
み、プリントする。
画像の取り込みとプリントの方
法については、プリンターの取
扱説明書をご覧ください。

パソコンで使う

別売りのパソコン接続キットDSKIT-PC4(Windows/Macintosh用)を使って、パソコンとの間で画像データのやりとりができます。パソコンの種類によって、次の2通りの通信方法があります。

①赤外線データ送受信部を使う方法:

赤外線データ通信対応または赤外線通信アダプターを接続したパソコン(IBM PC/ATおよびその互換機、一部のNEC PC-98シリーズ)

②デジタルI/O端子にケーブルを接続する方法:

RS-232C端子またはモデムポートのあるパソコン(IBM PC/ATおよびその互換機、NEC PC-98シリーズ、Macintosh)

本機の電源/ファンクションダイヤルを「PC」に合わせると、デジタルI/O端子にケーブルが接続されていない場合は赤外線データ送受信部からの、接続されている場合はデジタルI/O端子からの通信待機状態になります。通信速度は自動選択されます。

* パソコン接続キット

パソコンと本機を接続するための専用の接続ケーブルと、パソコンで本機の画像を取り込み、処理するためのアプリケーションソフトウェアが付属されています。

■ご注意

DSC-F1/F2用パソコン接続キットDSKIT-PC1W/2W/3W/1M/3Mをお使いになれます。また、DSKIT-PC1W/2W/1Mの場合、「PC」メニューでの通信速度の設定も必要になります(51ページ)。

①赤外線データ送受信部を使う方法(IBM PC/ATおよびその互換機、一部のNEC PC-98シリーズ)

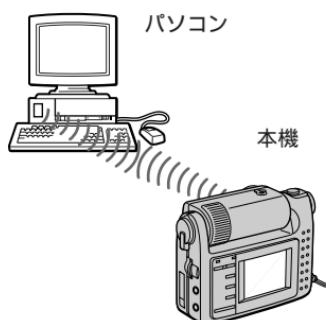
1 パソコンにソフトウェアをインストールする。

パソコン接続キットに付属のアプリケーションソフトウェアや赤外線ドライバーをインストールします。

赤外線通信アダプター(DSKIT-IR2Wなど)をパソコンに接続して使用するときは、付属のドライバーもインストールします。

詳しくは、パソコン接続キットまたは赤外線通信アダプターの取扱説明書をご覧ください。

2 本機とパソコンまたは赤外線アダプターの赤外線送受信部同士が向かい合うように置く(約10~30cm、中心からの左右角度15°の範囲内)



撮影した画像を他の機器で使う

■ご注意

- 送信機と受信機は送受信可能範囲に置き、遠ざけ過ぎたり、近づけ過ぎたりしないでください。送受信ができなかったり、ノイズが発生する原因になります。
- 送受信部を手や物などでおおわないでください。
- 壁や不透明なガラスなどは赤外線を通しません。なお、ガラスなどを通すと、伝送距離が短くなります。

3 本機のデジタルI/O端子に接続ケーブルが接続されていないことを確認し、電源 / ファンクションダイヤルを「PC」に合わせる。
液晶画面が消えて（省電力機能）、パソコンからの通信待機状態になります。

4 手順1でインストールしたアルバムアプリケーションを操作して、本機の画像データを取り込み、処理する。
パソコンでの操作方法は、パソコンとパソコン接続キットまたはお使いになっているアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

■ご注意

パソコンで操作している間、本機側での操作はできません。

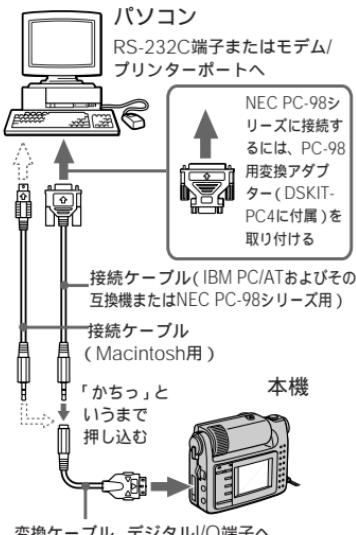
②デジタルI/O端子にケーブルを接続する方法 (IBM PC/ATおよびその互換機、NEC PC-98シリーズ、Macintosh)

1 パソコンにソフトウェアをインストールする。

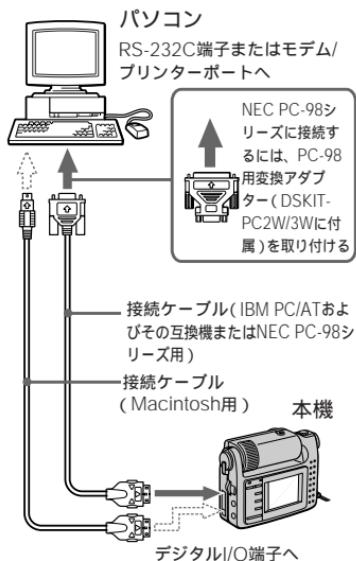
パソコン接続キットに付属のアプリケーションソフトウェアをインストールします。詳しくは、パソコン接続キットの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコン接続キットに付属の変換ケーブル、接続ケーブルを使い、本機のデジタルI/O端子とパソコンのRS-232C端子（IBM PC/ATおよびその互換機）またはモデム／プリンターポート（Macintosh）を接続する。

パソコン接続キットDSKIT-PC4をお持ちの場合



パソコン接続キットDSKIT-PC1W/2W/3W/1M/3Mをお持ちの場合



- 3 本機のデジタルI/O端子に接続ケーブルが接続されていることを確認し、電源 / ファンクションダイヤルを「PC」に合わせる。

液晶画面が消えて（省電力機能）、パソコンからの通信待機状態になります。

- 4 手順1でインストールしたアプリケーションソフトウェアを操作して、本機の画像データを取り込み、処理する。
- パソコンでの操作方法は、パソコンとパソコン接続キットまたはお使いになっているアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

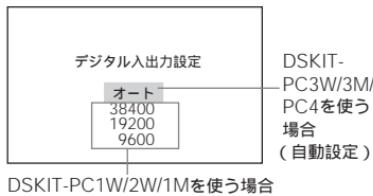
■ご注意

パソコンで操作している間、本機側での操作はできません。

通信速度の設定

（パソコン接続キット
DSKIT-PC1W/2W/1Mをお
使いになる場合のみ）

DSKIT-PC1W/2W/1Mと本機の両方で、お持ちのパソコンに合った通信速度の設定が必要です。電源/ファンクションダイヤルを「PC」に合わせ、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。デジタル入出力設定メニューが出ます。

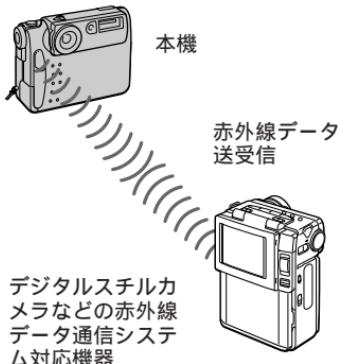


メニュー/決定ジョグダイヤルを回して通信速度を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押します。再び液晶画面が消えて、待機状態になります。

赤外線データ通信システム対応機器で使う(画像送受信)

本機と同じデジタルスチルカメラなどの赤外線データ通信システム対応機器と画像データの送受信ができます。お使いになる機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 本機と画像を送受信をする機器の赤外線送受信部同士が向かい合うように置く。
(約10~30cm、中心からの左右角度15°の範囲内に置く。)

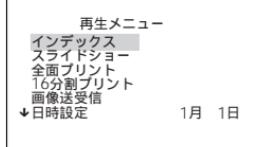


■ご注意

- 送信機と受信機は送受信可能範囲に置き、遠ざけ過ぎたり、近づけ過ぎたりしないでください。送受信ができなかったり、ノイズが発生する原因になります。
- 送受信部を手や物などでおおわないでください。
- 壁や不透明なガラスなどは赤外線を通しません。なお、ガラスなどを通すと、伝送距離が短くなります。

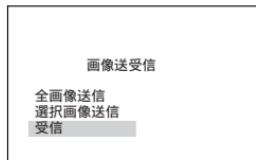
- 2 電源 / ファンクションダイヤルを「再生」に合わせ、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

再生メニューが出ます。



- 3 「画像送受信」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

画像送受信メニューが出ます。



- 全画像送信
全画像を送信。
- 選択画像送信
一部の画像を選んで送信。
- 受信
他の機器から画像を受信。

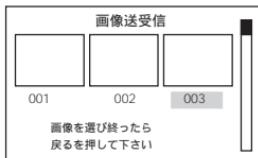
- 4 選択 / 決定ジョグダイヤルを回して転送する画像を選ぶ。

全画像データを送信する

「全画像送信」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。画像送受信実行画面が出ます。

選択画像を送信する

① 「選択画像送信」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。
画像選択画面が出ます。



ページを送る

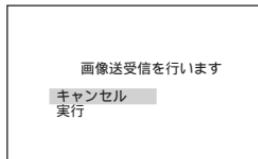
◀/■、▶/▶ボタンを押すと
3枚づつ前後に送れます。

② 送信する画像を指定する。

メニュー/決定ジョグダイヤルを回し画像を選び、押して指定をします。指定された画像の番号が反転表示されます。(もう一度押すと、指定が解除されます。)

③ 戻るボタンを押す。

画像の送信実行画面が出ます。



受信する

「受信」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。画像送受信実行画面が出ます。

5 画像の送受信先の機器の準備をする。

本機で受信するときは

本機を受信状態にしてから、送信元から送信を開始します。

本機から送信するときは

受信元を受信状態にしてから、本機から送信を開始します。

6 「実行」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。 画像の送受信が始まります。

「送信」または「受信」のいずれかが表示される



送受信が終了すると、再生メニュー画面に戻ります。

送信を中断する

戻るボタンを押します。途中で操作を中断したいときも戻るボタンを押します。

通常の再生画面に戻る

戻るボタンを押します。

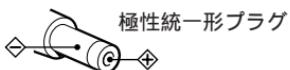
本機の電源について

本機は、次の2通りの電源で使えます。

- 充電式リチウムイオン電池
LIP-10（付属）（11ページ参照）
- ACパワーアダプターAC-DSC1
を使って家庭用電源（コンセント）（14ページ参照）

■ACパワーアダプターについて

本機には、付属の専用ACパワーアダプターAC-DSC1（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



■ご注意

ACパワーアダプターのコードを引っ張らないようにしてください。引っ張るとプラグがコンセントから抜けることがあります。コードをいっぱいにのばした状態で使うときは、プラグが抜けやすいので、市販の延長コードをお使いになるとをお勧めします。

充電式リチウムイオン電池

交換についてのご注意

充電式リチウムイオン電池LIP-10を交換するときは、電源／ファンクションダイヤルを「切」にしてください。また、交換が完了するまでシャッターボタンを押したり、電源／ファンクションダイヤルの位置を変えて電源を入れたり切ったりしないでください。日時の設定が解除されることがあります。日時の設定が解除された場合は、充電式リチウムイオン電池を交換し、充電完了後、時計を合わせ直してください（37ページ参照）。

充電式リチウムイオン電池の上手な使いかた

充電について

いつ充電してもかまいません。
充電の前に放電したり、使い切った
りする必要はありません。

使う前に充電してください
充電後は使わずに保存しておいて
も、自然に放電しますので、使う前
に充電することをお勧めします。

使用可能時間について

予定撮影時間の2~3倍分の電池を用意すると安心です。

寒冷地では、電池の使用時間が短くなります。

温度が低い(10以下)と、電池の性能が低下するためです。より長い時間お使いになるために、次のことをお勧めします。

- ・電池をポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本機に取り付ける。カイロをお使いの場合は、直接電池に触れないように、ご注意ください。
- ・充電は、室温(10~30)で、本機に取り付けて、ACパワーアダプターをつないで行います。

はじめて充電するときや、長時間使用しなかったあとでは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。

何回か放電、充電をくりかえすと通常の状態に戻ります。

保存方法について

なるべく涼しい場所で保存してください。

長期間お使いにならないときは、本機から取りはずして、なるべく涼しい場所で保存してください。

お手入れについて

端子部はいつもきれいにしておいてください。

端子部に異物が入ってしまった場合は、先の細い柔らかい棒で完全に取り除いたあと、電池の取り付け、取りはずしを数回繰り返してください。端子部の接触状態がよくなります。

知っていただきたい電池の知識

電池の寿命は?

電池を常温で使用した場合約300回以上繰り返して使えます。正しい充電を行っても使用できる時間が通常の半分くらいになった場合は、新しいものをお買い求めください。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所

炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると变形したり、故障したりすることがあります。

- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く

変形したり、故障したりすることがあります。

- 液晶画面を太陽に向けたままにしない

液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。

- 激しい振動のある場所

- 強力な磁気のある場所

- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所

海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。結露が

起きたときは、充電式リチウムイオン電池を取り出し電池ぶたを開けて、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起こりやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき

- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき

- スコールや夏の夕立のあと

- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするためには、本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

使用について

- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わない
正しくご使用になれないことがあります。

- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わない

TVやラジオ、チューナーの雑音が入ることがあります。

- ACパワーアダプター（付属）を海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しない

発熱や故障の原因となります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをお勧めします。

レンズのお手入れ

レンズ表面のほこりは、プロワープラシか、柔らかい刷毛でとります。汚れがひどいときは、別売りのレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

お使いにならないときは

持ち運ぶときやお使いにならないときは、電源 / ファンクションダイヤルが誤って回らないように、電源 / ファンクションダイヤルを「切」に合わせ、ファンクションロックを「ロック」に合わせておいてください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）がある場合がありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-DSC1は、AC100~240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像をテレビで見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像入力端子付きであること、および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		主に北米、南米など		主にヨーロッパなど
↓ 使用する変換アダプター	不要です。ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。 			

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダード
- トバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- パミニューダ
- バルバドス
- フィリピン
- ブルトルコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するため必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名： DSC-F3
- 故障の状態： できるだけ詳しく
- 購入年月日

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。液晶画面に見慣れない表示が出たときは、61ページをご覧ください。

症状	原因	処置
操作を受けつけない	充電式電池が消耗している ( 表示が出る)。	充電式リチウムイオン電池を充電する。(11ページ)
	ACパワーアダプターがしっかりと差し込まれていない。	DC IN端子とコンセントにしっかりと差し込む。(14ページ)
	内部システムの誤動作。	電源を外し、1分後にふたたび電源を入れて、正しく動作するか確認する。それでも操作できないときは、本体底面のリセットボタンを先のとがったもので押す。(この操作をすると、すべての設定が解除されます。)
撮影ができない	電源 / ファンクションダイヤルが「カメラ」になっていない。	電源/ファンクションダイヤルを「カメラ」にする。
	すでに限度いっぱいに撮影している。	不要な画像を削除してから撮影する。(43ページ)
	電池が消耗している。	充電式リチウムイオン電池を充電する。(11ページ)
ピントがあってない	マクロレバーの位置がマクロ撮影の位置になっている。	通常の撮影位置に戻す。(15ページ)
ノイズに入る	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い	逆光になっている。光量が足りない。	明るさを補正する。(34ページ) 液晶画面の明るさを調節する。(14ページ)
撮影日時が記録されない	充電式リチウムイオン電池が放電してしまった。	充電式リチウムイオン電池を充電して(11ページ)、時計を合わせ直す。(37ページ)
	充電式リチウムイオン電池が本体に入っていない、消耗している。 ACパワーアダプターがしっかりと差し込まれていない。	充電した充電式リチウムイオン電池を本体に入れてください。または、ACパワーアダプターをしっかりと差し込んでください。
	全面プリントメニューの設定が「日付なし」になっている。	全面プリントメニューの設定を「日付入り」または「日時入り」にする。(47ページ)

症状	原因	処置
明るい被写体を写す と、縦に尾を引いた ような画像になる	スマア現象という現象です。 液晶画面は非常に精密度の高い 技術で作られています。	故障ではありません。
黒い点が現われた り、赤と青、緑の 点が消えない。	液晶画面は非常に精密度の高い 技術で作られています。	故障ではありません。これらの点 は記憶されません。
電池の消耗が速い。	充電式リチウムイオン電池の充電 が不十分。	十分に充電する。(11ページ)
	充電式リチウムイオン電池自体が 寿命。	新しい充電式リチウムイオン電池 に交換する。(11、55ページ)
再生がない。	電源/ファンクションダイヤルが 「再生」になっていない。	電源/ファンクションダイヤルを 「再生」にする。
	電池が消耗している。	充電式リチウムイオン電池を充電 する。(11ページ)
電源/ファンクショ ンダイヤルを 「カメラ」または 「再生」にしても 電源が入らなかつ ったり、正しく 動作しない。	繰り返し電源/ファンクションダイ ヤルを切り換えたために誤動作し ている。	電源/ファンクションダイヤルを いったん「切」にし、再度「カ メラ」または「再生」にするか、 シャッターを軽く押して電源を復 帰させてみる。
電源/ファンクショ ンダイヤルを 「カメラ」または 「再生」にした たときに、電源 ランプが薄くひか り点滅する。	充電式リチウムイオン電池が本体 に入っていない、消耗している。 ACパワーアダプターがしっかりと 差し込まれていない。	充電した充電式リチウムイオン電 池を本体に入れてください。また は、ACパワーアダプターをしつ かりと差し込んでください。
画面が削除できな い。	プロテクト指定がされている。	プロテクト指定を解除する。 (42ページ)
赤外線データ送受 信ができない。	送受信する機器の送受信部が向か い合っていない	送受信部が向かい合うような位置に置 く。(20、46、49、52ページ)
	受信側の機器が赤外線の届かない ところにある。間に壁などがあ る。	10~30cm、中心からの左右角度 15°の障害物のない所に置く。 (20、46、49、52ページ)
	デジタルI/O端子からの通信待機 状態になっている。	パソコン専用接続ケーブルを抜 く。(49ページ)
	画像データが赤外線対応機器に転 送できない。	赤外線データ通信システム対応機 器かどうか確認する。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面には、次のような表示が出ます。下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味と対策
バッテリーをチャージして下さい。(■表示が出る)	充電式リチウムイオン電池の残量がない。 → 充電式リチウムイオン電池を充電する。(11ページ) ■ご注意 ご使用中に「バッテリーをチャージして下さい」と表示され、自動的に電源が切れたときは、使用中の充電式リチウムイオン電池の使用をやめ、ACパワーアダプターを使用するか、充電した新しい充電式リチウムイオン電池と交換してください。一度使い切った充電式リチウムイオン電池でも本機の電源は入りますが、すぐに消耗し、正常に終了する前に電源が切れてしまい、内部の画像データが破壊されることがあります。
保存中 しばらくお待ち下さい。	画像を保存中はシャッターを押しても撮影できない。 → 表示が消えてから再度シャッターを押す。(13ページ)
メモリがいっぱいです。	すでに限度いっぱいに撮影してしまった。 → 不要な画像を削除してから、撮影する。(43ページ)
プロジェクトされた画像が残っています。	「全画像」削除を選んだときも、プロジェクト指定された画像は削除できない。 → プロジェクト指定を解除してから削除する。(42ページ)
表示できません。	画像の再生に失敗した。 → 電源/ファンクションダイヤルを「切」にして、もう一度再生する。
全面プリントできません。 16分割プリントできません。	プリンターになんらかの障害がある、赤外線データ通信システム対応機器以外と接続しようとした、プリンターの準備ができていない。 → プリンターの状態と、プリンターと本機が赤外線送受信可能範囲内に置かれているかどうかを確認し、もう一度プリントしてみる。(20、46ページ)
画像送受信ができません。	赤外線による接続ができない、赤外線データ通信システム対応機器以外と接続しようとした、内蔵メモリーの残量がない。 → 受信側のデジタルスチルカメラなどのメモリー残量と、送受信機が赤外線送受信可能範囲内に置かれているかどうかを確認し、もう一度転送してみる。(52ページ)
画像ファイルにエラーがあります。	エラーのある画像ファイルがある。 → 「エラーのある画像ファイルを削除する」(62ページ)の手順で画像ファイルを削除する。
レンズ部を回転させてください。	レビュー撮影は、レンズ部を対面状態にして操作できません。 → レンズ部回転させて、もとの位置に戻してください。
棒データにエラーがあります。	エラーのあるプリンバ枠がある。 → 別売りのパソコン接続キットDSKIT-PC4に付属のソフトウェアで入れ直してください。

表示	意味と対策
アニメ画像の回転はできません。 戻るを押して下さい。	アニメ画像の回転はできません。 → 戻るボタンを押し、再生メニューに戻してください。
アニメ画像の拡大はできません。 戻るを押して下さい。	アニメ画像の拡大はできません。 → 戻るボタンを押し、再生メニューに戻してください。

エラーのある画像ファイルを削除する

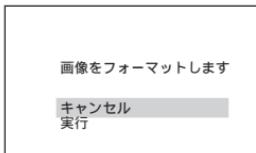
「画像ファイルにエラーがあります」と表示される場合は、電源／ファンクションダイヤルを「再生」に合わせ、削除ボタンで、横に❶が表示された画像を削除します(43ページ参照)。削除を行っても画面に「画像ファイルにエラーがあります」と表示されている場合は、次の操作で画像フォーマットを実行します。

❶ご注意

画像フォーマットを実行すると、これまで記録されたすべての画像が削除されます。また、プリンバ枠は、工場出荷時の状態に戻ります。プリンバ枠も含め、必要な画像はあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

画像フォーマットのしかた

- 電源/ファンクションダイヤルを「カメラ」または「再生」に合わせる。
- メニュー/決定ジョグダイヤルを押しながら、本体底面のリセットボタンを押す。メニュー/決定ジョグダイヤルはそのまま、次の画面が表示されるまで押し続ける。



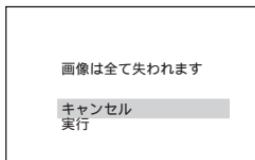
❷ご注意

リセットボタンを押してから数秒間は液晶画面が暗くなり、その後上の画面が表示されます。上の画面が表示される前にメニュー/決定ジョグダイヤルを離すと、操作が中断しますので、操作をやり直してください。

❸「キャンセル」を選ぶと
カメラまたは再生画面に戻ります。

- 「実行」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

次の確認画面が表示されます。



❹「キャンセル」を選ぶと
カメラまたは再生画面に戻ります。

- 「実行」を選び、メニュー/決定ジョグダイヤルを押す。

画像フォーマットが実行されます。



画像フォーマットが終了すると、カメラまたは再生画面に戻ります。

主な仕様

システム

形式

メモリー式デジタルスチルカメラ

映像信号出力

NTSCカラー、EIA標準方式

撮影素子

1/4インチCCD

(640×480) 正方格子、原色

フィルター、全画素読み出し方式

レンズ

4群5枚

焦点距離 f = 4.8 mm

(f = 46 mm、35 mmカメラ換算)

パンフォーカス (0.7 m ~ ∞)

マクロ(0.08 m ~ 0.25 m)

F 2.0

測光方式

TTL測光方式

露出制御

自動(AEシフト機能あり)

ホワイトバランス

自動

データ圧縮方式・記録枚数

JPEG方式

ファインモード

(120 KB) 最大60枚

スタンダードモード:

(64KB) 最大105枚

エコノミーモード:

(32 KB) 最大200枚

データ形式

Picture MD準拠

主画面: 640×480 (VGA)

インデックス画面: 80×60

記憶媒体

内蔵8 MB 64Mbitフラッシュメモ

リー

フラッシュ

使用距離: 1m~3m

直列制御自動調光方式

シャッタースピード

オート撮影時:自動可変(1/30~1/500)

マニュアル撮影時:

1/8~1/1000より選択

液晶画面

画面サイズ

1.8型(横279トリオ×縦220ライン)

使用液晶パネル

TFT(薄膜トランジスタアクティブ

マトリクス)駆動

総ドット数

61,380ドット

入・出力端子

映像出力端子

ミニジャック

1 Vp-p, 75

不平衡、同期 負

デジタルI/O端子

9ピン特殊コネクター

RS-232C準拠

9.6 kbps ~ 115.2 kbps

赤外線送受信部

IrDA1.1準拠

9.6 kbps ~ 1.152 Mbps

電源・その他

電源

外部電源ジャック: 定格DC 6 V
ACパワーアダプター AC-DSC1
(付属)
電源
AC100 - 240V、50/60Hz
定格入力容量
14 - 19 VA
定格出力
DC6V、1.0A

最大外形寸法
約48×26×70mm
(幅/高さ/奥行き)
質量 約100g

充電式リチウムイオン電池 LIP-10
(付属)
最大電圧 DC4.2V
公称電圧 DC3.6V
容量 750mAh
最大外形寸法
約17.0×67.0×17.2mm
(幅/高さ/奥行き)
質量 35g

電池持続時間

充電式リチウムイオン電池の持続時間については、「撮って見る」(12ページ)をご覧ください。

消費電力

ACパワーアダプター使用時:
撮影時3.9 W、再生時2.5 W
充電式リチウムイオン電池使用時:
撮影時3.7 W、再生時2.3 W

保存温度

-20 ~ +60

動作温度

0 ~ +40

最大外形寸法

約102×77.8×40.8 mm (幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず)

質量

本体 約280 g (充電池含まず)
約315 g (充電池含む)

付属品

ビデオ接続ケーブル(1)
充電式リチウムイオン電池LIP-10
(1)
ACパワーアダプターAC-DSC1
(1)
キャリングケース(1)
ハンドストラップ(1)
取扱説明書(1)
保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

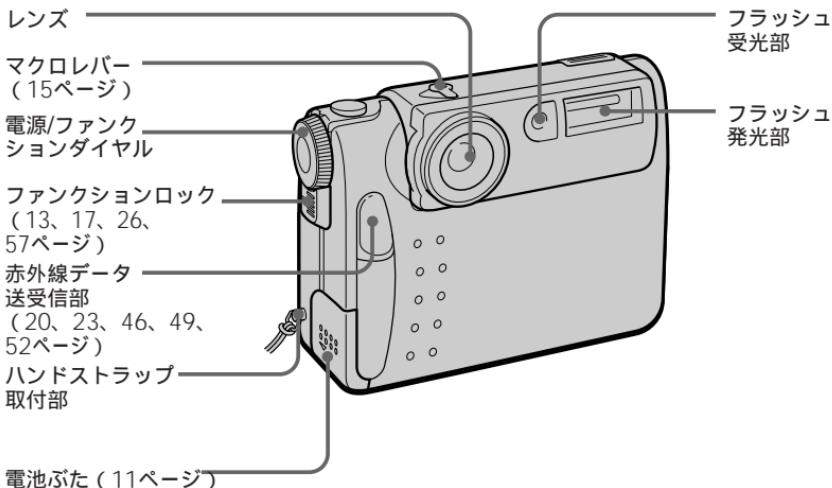
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

別売りアクセサリー

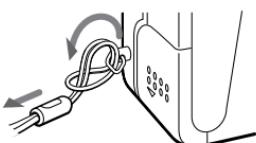
パソコン接続キット
DSKIT-PC4 (Windows/Macintosh用)
PCカードストレージャー
DSAC-PCS1
デジタルカラープリンター
DPP-M55
赤外線通信アダプター
DSKIT-IR2W (IBM PC/ATおよび互換機用)
デジタルピクチャーアルバム
DPA-1
リチウムイオン充電池専用充電器
BC-LIP12K
専用遮光フード
DSAC-MF1

各部のなまえ

() 内のページに詳しい説明があります。

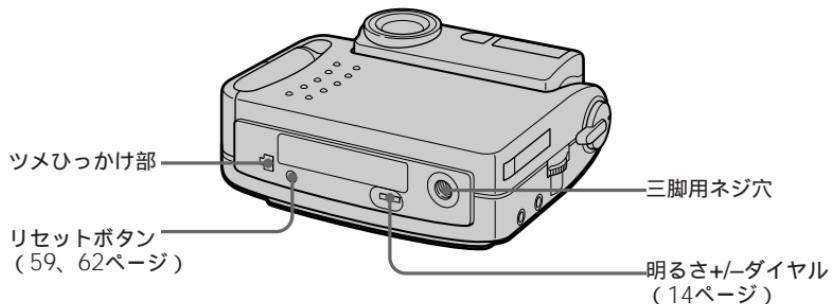
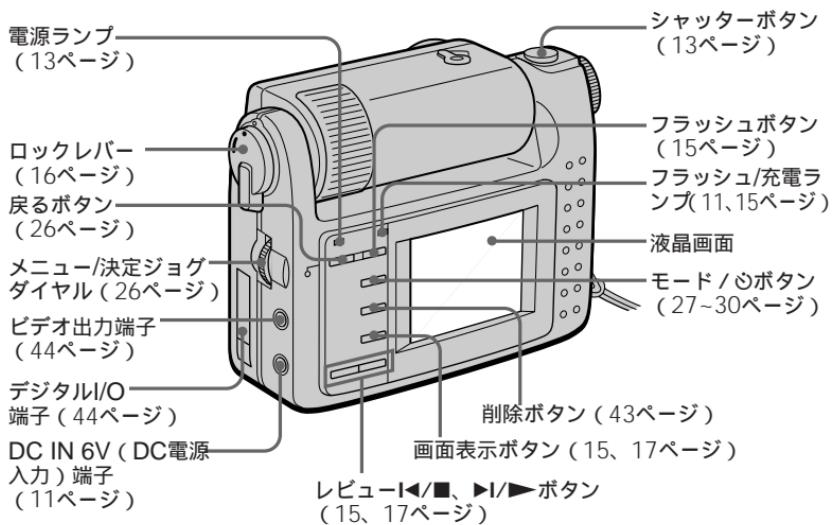


ハンドストラップ(付属)を取り付ける



三脚を使うときは
三脚を使うときは、ネジの長さが
5.5mm以下のものをお使いください。

その他



用語解説

ア行

インデックス画面...38ページ
6つの画像を一度に表示する画面。画像の検索に便利。

オート撮影...14、34ページ
AE(自動露出)、AWB(自動ホワイトバランス)などの機能による撮影。

力行

逆光 ...34ページ
太陽の強い光の方向に被写体がある場合、被写体が黒っぽく映る。カメラメニューの明るさ調節またはフラッシュにより、補正できる。

サ行

スライドショー...39ページ
番号の小さい画像から順に画像を切り替えながら再生する機能。

赤外線データ通信システム...23、44ページ
画像データなどを赤外線により高速で通信するシステム。デジタルカメラのほかに、パソコン、プリンターなどが採用している。

タ行

タイムマシン撮影モード...28ページ
シャッターを押したときの画像のほかに、その前後の画像も連続して撮るモード。シャッターチャンスを捉える場合に便利。

ハ行

プリンパする...18ページ
デジタルカラープリンターで16分割のシールプリントを作ること。ハート型などの枠(プリンパ枠)を付けることもできる。

マ行

マニュアル撮影...14、34~36ページ
シャッタースピードや明るさをカメラメニューで調節することができる。

アニメ撮影モード...28ページ

4画像を1画面に合計5画面分記録し、再生時には、自動的に1画像ずつ動きのある画像として連続再生する。

ラ行

連写モード...27ページ
シャッターを押しつづけている間複数の画像を連続して撮ること。本機には、通常の連写の他に、タイムマシン撮影とアニメ撮影がある。

アルファベット順

エーイー

AE(自動露出)...14ページ
被写体や撮影状況に応じて最適な明るさで撮影を可能にする機能。シャッタースピードやアイリス(絞り)を自動で調節する。

エイダブリュピー
AWB(オートホワイトバランス)
...14ページ

光源や撮影状況によらず適した色あいで撮影を可能にする機能。

ジェイペイ

JPEG...33ページ
本機が採用している画像データの圧縮フォーマット。フォーマット名の由来は自然画像の静止画の標準化を行ったグループ名(Joint Photographic Experts Group)。

エヌティーエスシー

NTSC方式...57ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録された画像は、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のテレビでは再生できない。

その他

索引

ア行

- 明るさ調節
- 液晶画面 14
- 画像 34
- フラッシュ 36
- アニメ撮影 28
- インデックス再生 38
- うまく撮る姿勢 16
- オートパワーオフ機能 .. 12
- オート撮影 14、34
- お知らせメッセージ 61
- お手入れ 57

力行

- 海外で使うとき 57
- 回転 40
- 拡大 41
- 画像フォーマット 62
- 画質モード 33
- 画像送受信 52
- 家庭用コンセント 14
- カメラメニュー 24
- 画面表示 14、17
- カラーテレビ方式 57
- 逆光補正 34
- 警告表示 61
- 結露 56
- 故障かな?と思ったら .. 59

サ行

- 再生する 17
- 再生メニュー 25
- 削除する 43
- 撮影する 13
- 三脚 65
- シャッタースピード 35
- 充電 11、55
- 充電式リチウムイオン電池 11, 55
- スライドショー 39
- 赤外線データ通信 23
- 接続 44
- テレビ 45
- プリンター 18、45
- パソコン 49
- セルフタイマー撮影 30

タ行

- タイムマシン撮影 28
- 対面撮影 16
- ダブルショット撮影 29
- デジタル入出力設定
- メニュー 24、51
- 電池を入れる 11
- 電池の持続時間 12
- 電池残量表示 12

ハ行

- パソコン 49
- ハンドストラップ 65
- 日付・時刻合わせ 37
- 日付・時刻のプリント .. 47
- フラッシュ撮影 15、36
- プリントする 45
- プリンバする 18
- プロテクト指定 42

マ行

- マクロ撮影 15
- マニュアル撮影 14
- メニュー 24

ラ行

- レビュー再生 15
- レビュー撮影 30
- 連写 27

アルファベット順

- ACパワーアダプター 11、14
- AE(自動露出) 14
- AWB 14
- JPEG 33
- NTSC方式 57

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

使いかたのご相談、故障のご連絡は

DSC-F3カスタマーサポート専用ラインへ

Tel: 0564-62-9743

Fax: 0564-62-9744

受付時間(月~金)午前10時~午後5時
(年末年始、祝日を除く)